

第八十六回帝國議會
衆議院

船員保險法中改正法律案委員會會議錄(速記)第四回

付託議案

船員保險法中改正法律案(政府提出)
(第一號)

昭和二十年一月二十六日(金曜日)午後一時十六分開議

出席委員 左ノ如シ

委員長 村松 久義君

理事 富田愛次郎君 理事 仲井間宗一君

理事 渡邊 健君

清水留三郎君

角 猪之助君

花村 四郎君

山口喜久一郎君

出席國務大臣 左ノ如シ

厚生大臣 廣瀬 久忠君

出席政府委員 左ノ如シ

厚生政務次官 中井川 浩君

厚生參事官 馬場 元治君

厚生省健民局長 入江誠一郎君

厚生省衛生局長 龜山 孝一君

厚生省勤務局長 中村敬之進君

厚生省保險局長 伊藤 謹二君

厚生書記官 花澤 武夫君

運輸通信省海運 總局總務局長 有田 喜一君

本日ノ會議ニ上リタル議案 左ノ如シ

船員保險法中改正法律案(政府提出)

○村松委員長 是ヨリ會議ヲ開キマ

ス、質疑ヲ繼續致シマス——渡邊健君

○渡邊(健)委員 船員保險制度ノ上

デ、業務上ト業務外デハ色々ノ給與ノ

點ニ於テ非常ニ違ツテ居リマス、ソレ

デ例ヘバ療養ノ給付ニシテモ、障害年金

ニシテモ、障害手當金ニシテモ、遺族

年金ニシマシテモ、業務上ダト非常ニ

厚クナツテ居リマス、是ハ當然ナコト

別ガ非常ニ難カシクナルコトガアルノ

デハナイカト思フノデアリマス、船員

保險法施行令ヲ別表第一ノ十一ニ依リ
マス、療養年金デモ療養手當金デ
モ、「以上各號ニ該當セザルモノト雖
モ疾病又ハ負傷ニ因リ終身勞務ニ服ス
ルコト能ハザルモノ」ト云フ一項ガア
リマスガ、是ハドウ云フコトヲ意味シ
テ居ルノカ御伺ヒシタイト思ヒマス

○伊藤(護)政府委員 今度此ノ別表ハ
改正サレタルコトニナリマシタガ、大體
考ヘ方ト致シマシテハ從來勤勞者ニ對
スル保護立法ト致シマシテ、終身勞務
ニ服スルコト能ハザルモノト云フノ
ト、ソレカラ從來ノ勞務ニ服スルコト
能ハザルモノ、斯ウ云フ大體ニ段階ニ
分レテ居リマシテ、終身勞務ニ服スル
コト能ハザル者ニ對シテハ厚ク保護
シ、從來ノ勞務ニ服スルコトハ出來ナ
イガ、多少トモ勤勞稼働力ノアル者ニ
對シテハ、比較的薄ク保護スルコト云
フ大體ノ建前ニナツテ居ル譯デアリマ
ス、今回ノ船員保險法ノ改正案ニ於キ
マシテモ、大體職務外ノ事由ニ依リマ
シテ療養ニナリマス者ニ付キマシテ
ハ、終身勞務ニ服スルコト能ハザル者
ニ對シマシテハ障害年金ヲ與ヘ、ソレ
カラ從來ノ勞務ニ服スルコト能ハザル
者ニ對シテハ障害手當金ヲ與ヘ、斯
ウ云フヤウナ考ヘデ立案シテ居ルノデ
アリマス

○渡邊(健)委員 結核性ノ疾患ハ職務
外ニナツテ居ルヤウニ比較表ニハ書イ
テアリマスガ、是ハ其ノ限界ガ非常ニ
難カシイト思フノデ、ソレカラ又
「マラリヤ」ニ罹ルトカ、其ノ他ノ風土
病ニ罹ルトカ、脚氣ニ罹ルトカ云フヤ
ウナコトデ、心臟瓣膜症ニナツタナラ
バ、是ハ可ナリノ發疾ト云フコトニナ
ルダラウト思ヒマス、殊ニ脚氣ノヤウ
ナ病氣ハ船員ニ非常ニ多イ病氣ダト思
ヒマス、船ニ乗ツテ居ル爲ニ起ルト云
フコトニナレバ當然職務上ノ疾患ダト
考ヘラレマスガ、コンナ點ハ如何デス
カ

○伊藤(護)政府委員 是ハ實ハ職務上
ノ原因ニ基クモノカ、職務外ノ原因ニ
基クモノカ、疾病ノ點ニ付イテハ中々
判定ガ困難ナドデアリマス、該當傷害
デゴザイマス極メテ明瞭ニ判定ガ出
來マスケレドモ、只今御話ノヤウニ結
核性疾患トカ其ノ他ノ疾病ニナリマス
ト、是ガ果シテ職務上ノ原因ニ基ク病
氣デアルカ、其ノ他ノ原因ニ基ク病氣
デアルトカ云フコトニ付テハ、御話ノ
通り認定ニ中々困難ナ問題デアリマシ
テ、事務ヲ執ル方面ニ於キマシテモ隨
分苦勞サセラルレ譯デアリマス、是等
ノ點ニ付キマシテハ專門ノ醫師ノ方々
ノ意見モ聽キ、主務大臣ニ於テ認定ス
ル、斯ウ云フヤウナコトニナツテ居リ
マシテ、抽象的ニ此處デ、此ノ病氣ハ
職務上デアル、此ノ病氣ハ職務外デア
ルト云フコトヲハッキリ御答ヘ致シ兼
ネルノデアリマス

○渡邊(健)委員 ソレカラ健康保險ト
ノ差ガ大分アルヤウニ見受ケマスガ、
此ノ船員保險ノ方デ出產手當金、家族
療養費、配偶者ノ分娩費、是等ノ手當
金ナント云フモノガ、健康保險法ニハア
ルヤウデマスガ、船員保險法ニハナイヤ
ウデアリマス、今度ノ改正ニ依ルト、
乗船中ノモノノミデナク豫備船員マデ、
下船中ノモノモ含ムト云フコトニナツ
テ居ルヤウデアリマス、サウナリマス
ト、ヤハリ家族療養費トカ、配偶者ノ
分娩費トカ、出產手當金ト云フヤウナ
コトモ當然含マセテ宜イノデハナイカ
ト思ヒマスガ、之ヲ特ニ除イタ理由ガ
何カアルノデアリマスカ

○伊藤(護)政府委員 只今御尋ネノ出
產手當金或ハ分娩手當金ト云ツタモノ
ガ健康保險ニハアリマシテ、船員保險
ニハ入レテアリマセマスガ、是ハ陸上
面ニ於キマシテハ御承知ノヤウニ女子ガ
勤勞者ニ代ツテ女子ノ勤勞分野ガ多ク
ナリ、女子ノ被保險者ガ殖エテ行クノ
デアリマシテ、隨ヒマシテ此ノ女子勤
勞者ニ對スル出產手當金トカ、或ハ分
娩手當金其ノ他ノ給付ガ非常ナ大キナ
意味ヲ持ツノデアリマスガ、船員保險
ニ於キマシテハ、女子ノ被保險者ガ現
在大體二百名位カト思ツテ居リマシテ、
今後ノ趨勢ヲ見マシテモ、船員方面デ
ハ女子ガ男子ニ代ツテ進出スルコト云
フ傾向ハ殆ドゴザイマセマス、寧ロ減ジ
テ行クノデハナイカト云ツタヤウナ傾
向ニゴザイマス、隨ヒマシテ女子特有
ノ保險給付ト云フモノヲ船員保險ニ織
込ム必要ハナイデハナイカト云ツタヤ
ウナ譯デ、健康保險ニアリマス出產手
當金トカ、或ハ分娩費ト云ツタヤウナ

モノガ船員保險ニハ載ツテ居ラナイノ
デアリマス、イマ一ツ家族ノ療養給付
ノ問題デゴザイマスガ、是ハ船員ニ付
テモ家族ノ療養給付ノ問題ハアル譯デ
アリマスガ、此ノ點ニ付テハ相當私共
考慮ヲ加ヘタノデアリマス、所デ實
ハ健康保險ノ方デモ曾テハ家族ノ療
養給付ガナク、數年前ノ改正デ家族ノ
療養給付ヲ含メテ、ソレガ爲ニ多少保
險料モ増徴致シタ譯デアリマスガ、其ノ
實績ノ結果ヲ檢討シテ見マスルト、必
ズシモ豫想シタ通りニ旨ク運営サレテ
居ラナイノデアリマシテ、ドチラカ
ト申シマスト國民健康保險組合ト云フ
モノガ非常ニ普及シテ參リマシテ、國
民健康保險組合側カラハ、少クトモ健
康保險組合ノ家族ノ療養給付ハ之ヲ止
メテ寧ロ國民健康保險組合ノ方ニ吸
收シテハドウカ、斯ウ云ツタヤウナ聲
ガゴザイマシテ、是レ亦國民健康保險
組合ト健康保險組合トノ事務ノ簡素化
ノ點カラ申シマシテモ、或ハ國民健康
保險組合ノ方ニ家族ノ療養給付ハ移シ
タ方ガ宜イノデハナイカト云ツタヤウ
ナ感ジモ致シマスノデ、今回ノ船員保
險ノ改正ニ當ツテハ、今後或ハ健康保
險ノ組合カラモ是ハ削除サレルカモ知レ
ナイ運命ニアリマスカラ、船員保險ノ
方デ此ノ際家族ノ療養給付ヲ新タニ起
スト云フコトハ止メテ置イタラ宜カラ
ウ、斯ウ云フヤウナ結論ニ達シマシテ、
入レテ居ナイヤウナ譯デアリマス

○渡邊(健)委員 直接船員保險制度ニ
關スル質問ハ是ダケデアリマスガ、マダ
衛生局長ガ御見エニナラヌヤウデアリ

マスカラ、社會保險ニ關スルコトヲ御伺ヒシタイと思ヒマス、昨日大臣ノ御話ニ依リマス、社會保險ガ種々難多デアル、其ノ種々難多ナモノヲ一纏メニシテ單一化スルコト云フコトハ中々簡單ニ出來ヌガ、段々サウナル積リダト云フ御話デアリマシタ、是ハモウ數年來誰モガ要望シテ居ルコトダと思ヒマス、一體現在ノ程度ニマデ統一スルト云フ話合ヒガ纏マツテ居ルノカ、又近キ將來ニ何カ國民健康保險ナリ、健康保險ナリニ一纏メニシ得ルヤウナ外ノ保險ガアルカドウカ、ソレヲ御伺ヒシタイと思ヒマス

○伊藤(護)政府委員 社會保險、殊ニ疾病保險ニ付キマシテハ、出來ルダケ之ヲ統一スルコトニ依リマシテ、保險院ノ事務量ト云フモノガ非常ニ輕減サレルコトナリマス、是ガ統一出來マスレバ之ニ越シタコトハナイノデアリマス、何トカシテ各種ノ社會保險ノ統一ヲシタイト云フ氣持ハ、我々トシテハ非常ニ強ク持ツテ居ル譯ナノデアリマスガ、何分ニモ官業共濟組合、或ハ政府共濟組合、特ニ官業共濟組合ノ方ニ於キマシテハ、非常ニ長イ間ノ傳統、歴史ヲ持ツテ居リマシテ、容易ニ後カラ發達シテ來マシタ社會保險ニ吸收サレルト云フコトニ中々應ジテ參ラナイノデアリマス、是等ノ官業共濟組合ニ於キマシテハ其ノ歴史、傳統ノミナラズ、ソレノ官業方面ノ勤務管理ノ部面カラ申シマシテモ、獨立シテヤツテ行キタイト云フヤウナ強イ氣持ガアルノデアリマシテ、常々我々機會アル毎ニ、何トカ此ノ時勢ニ統合シヨウデヤナイカト云フ話ハ出ルノデアリマスガ、今日マダ何時頃ニナツタラ統合ガ出來ルト云フ曙光モ見エナイト云フ

ヤウナ、極メテ難カシイ状態ニアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○渡邊(健)委員 是ハ是非此ノ際何トカ統合スルヤウニシテ下サラナイト國民モ困ラダラウシ、擔當スル醫者モ非常ニ煩雜デ困ツテ居リマス、例ヘバ診療費ノ支拂ヒナシカモ、或ル組合デハモウ其ノ翌々月ニハ拂ツテ呉レル、所ガ或ル組合デハ現在デモ半年以上過ギナクテハ拂ツテ呉レルト云フヤウナ状態デアリマシテ、是ハ是非單一化シテ下サルヤウニ、一段ノ御盡力ヲ御願ヒ申上ゲタイと思ヒマス

ソレカラ昨年診療報酬ノ單價ノ値上リヲスル、實ハ値上ゲシタイノダケレドモ、此ノ際單價ノ値上ゲヲスルト云フコトハ、折角國民保險ガ出來始マツタバカリデ、保險經濟ヲ脅カスコトニナルカラ、是ハイマ一年位待ツテ呉ルト云フヤウナ話デアリマシタガ、單價値上リノ問題ハドウナリマシタカ、

○伊藤(護)政府委員 診療報酬ノ單價ノ値上リノ問題デゴザイマスガ、是ハ昨年ノ五月頃ニ、最近ノ物價ノ値上リ其ノ他諸般ノ情勢カラ見マシテ、醫師會側ノ希望モ極メテ無理モナイコトデアリマシテ、從來全國一律ニ一點單價ガ二十錢デアリマシタモノヲ、甲地、乙地、丙地ノ三區域ニ分ケマシテ、甲地ト申シマスノハ六大都市、乙地ト云フノハ縣廳所在地人口十萬以上ノ都市、丙地ト云フノハ其ノ他ノ市町村デアリマスガ、甲地ガ二十六錢、乙地ガ二十三錢、丙地ハ據置キノ二十錢、斯ウ云フ風ナコトニ改正ヲ致シ、併セテ點數表ニモ相當改正ヲ加ヘマシテ、大體點數表ノ改正ニ依リ醫師側ノ收入ノ増加ハ約二割位ニナル計算ニ改正ヲ致

シタノデアリマス、其ノ結果點數表ノ改正ニ依ツテ大體二割位ノ增收ニナルノデアリマス、甲地ハ二十錢ガ二十六錢ニナリマシタ關係上約三割、合ハセテ五割内外ノ値上リ、乙地ハ二十錢ガ二十三錢ニナリマシテ、一割五分ノ値上リデアリマス、合ハセマシテ大體三割乃至三割五分程度ノ値上リ、斯ウ云フ風ナ改正ヲ致シタノデアリマス、ソコデ此ノ改正ニ依ツテ五月一日カラ施行シテ見マシタ結果、町村方面ノ國民健康保險組合ノ保險經濟ニ相當大キナ影響ガゴザイマシタ、相當影響ガアリマシテ、國民健康保險組合側カラ、點數單價ノ値上リ餘リヤラナイデ實ヒタイト云フ風ナ希望モアツタノデアリマス、一方醫師會側ノ方カラハ、五月ノ改正ダケデハ到底今日、醫師トシテ職域ヲ守ル譯ニハ行カナイ、職分ヲ全ウスル譯ニ行カナイカラ、是非ハ單價ノ引上リシテ實ヒタイト云フ風ナ強イ要望モゴザイマシタ、彼此レ我々ノ方デ勘案致シ、尙御承知ト思ヒマスガ、

診療報酬算定協議會ト云フモノガアリマシテ、色々専門家ノ集マツテ居ラレ其ノ算定協議會ノ議ヲ經マシテ、其ノ結論ガ大體甲地ハ單價二十六錢デ宜シ、乙地ハ二十四錢ガ適當デアラウ、丙地ハ二十二錢ガ適當デアラウ、斯ウ云フ答申ヲ得マシタノデ、其ノ答申ニ基キマシテ、此ノ二月一日カラ單價ノ引上ニ依リ診療報酬ヲ支拂フコトニ致シタノデアリマス、此ノ事ハ去ル二十四日ノ官報ニ厚生省ノ告示ヲ以テ公布致シタアリマス、尙此ノ際申上ゲテ置キマスガ、今回ハ全國一律ニ計算スルコトニ無理ガアリハシナイカト云フ風ナ見地カラ致シマシテ、地方長官ガ各般ノ事情ヲ睨ンデ、適當ト認

メル場合ニハ單價ノ引上ヲナシ得ル、但シ厚生大臣ノ承認ヲ得ナケレバナリマセヌガ、厚生大臣ノ承認ヲ得レバ其ノ縣限リ單價ノ引上モ出來ル、斯様ナ彈力性ノアル制度ニ改正致シタヤウナ譯デアリマス

○渡邊(健)委員 一體此ノ一點單價ノ値上ト云フモノハ、今度地方ガ二錢上リマシタ、一割デアリマス、ソレカラ乙地ガ一錢上ツタノデアリマスガ、此ノ値上ハ保險經濟方面カラ考ヘタノデアリマス、ソレトモ完全ナ醫療ガ是デ出來ルト云フ考ヘカラ、是ダケノ値上デ澤山ダト云フ御考ヘデ値上ヲシタノカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○伊藤(護)政府委員 此ノ點數單價ノ計算ト云フコトハ極メテ難カシイ問題デゴザイマシテ、單ニ保險經濟ノミカラ算定スベキモノデモアリマセヌシ、諸般ノ事情ヲ睨ンデ算定シナケレバナリマセヌノデアリマス、保險經濟ノ點カラ申シマスナラバ、健康保險ノ方ノ保險經濟ハ、今日相當ノユトリガアル狀況デゴザイマス、健康保險ノミカラ申シマスレバ、點數單價ヲモツト引上ゲテモ差支ヘナイ状態ニアルノデアリマス、唯健康保險ト國民健康保險トノ間ニ於テ、同じ地方デ點數ノ單價ニ相違ガアルト云フコトハ、是ハ極メテ面白カラス現象ヲ呈シマス、折角育チツ、アリマス國民健康保險組合ト云フモノノ育成モ考ヘナケレバナリマセヌノデ、左様ナ各種ノ事情ヲ睨ミマシテ、先程申上ゲマシタ診療報酬算定協議會ノ專門家ノ意見ヲモ聽取シテ左様な數字ガ出來タ譯デアリマス

○渡邊(健)委員 現在完全ナ醫療ヲ此ノ程度ノ金デアル、一點單價デアルト云フコトハ非常ニ困難ダト思ヒマス、今度大阪ノ保險醫協會ノ會長カラモ陳情書ガ出テ居リマスガ、此ノ必要ナ所ダケ一寸讀ンデ見マス「診療報酬ノ増額ニ付テハ從來數次ニ互リ一點單價ノ増額並點數ノ増點ヲ行ハレタルモ、常ニ時世ニ遅レテ之ニ追隨スルモ尙ホ及バザルコトノ甚ダ遠キ憾アルハ一般ニ痛感スルトコロニシテ、是ガ爲メ被保險者ハ却テ保險診療ヲ厭ヒテ普通一般ノ醫療ヲ選ビ、健康保險制度ヲ以テ無用ノ長物視シ、所謂閑診療ノ横行ヲ助成スルノ憾アリ、仍テ一日モ早く該制度ノ樞軸ヲ占ムル診療内容ノ低下ヲ防止スル爲メ、諸物價並環境ノ情勢ヲ慎重ニ調査研究シテ、適正妥當ナル價格ニ増額シ、以テ其ノ運用ヲ有效ナラシムルヤウ」ト云フヤウナ陳情書ガ出テ居リマスガ、生活指數ノ點カラ考ヘテモ、朝日新聞ノ全國生計費指數ヲ見マスト、昭和三年七月ヲ基準ト致シマスト、昨年ノ九月ニ大體總指數ガ三四二ニナツテ居リマス、其ノ中醫師藥價ト云フノガ一五三ニシカナツテ居リマセヌ、サウスルト半分以下ニナツテ居リマス、一番安いノガ家庭藥價デアリマス、其ノ次ニ安いノガ醫師ノ藥價ニナツテ居ルヤウデアリマス、藥價ノ點カラ考ヘテ見マシテモ、藥ノ原價モ昭和三年カラ比ベタラ非常ニ高クナツテ居リマス、昭和三年頃ノ慣行料金ト云フモノハ、ヤハリ一點單價二十錢デアリマス、其ノ値段段デ現在ヤツテ居テ、完全ナ診療ガ出來ルカト云ツタラ、非常ニ疑ハシイト思ヒマス、昭和九年度ノ藥價ヲ調べテ見マシテモ、十年前ノ藥ノ原價ト現在ノ原價デハ、多イノニナルト十倍ニナツテ居リマス、例ヘバ「アルコール」ノヤウナモノハ七十五錢

位で買ヘタノ今ハ九圓幾ラニナツテ
居リマス、唯十年前ノ藥ノ原價ト現在
ガ同ジナハ九圓幾ラニナツテ、其ノ他ハ皆五倍前
後ニナツテ居リマス、サウシタ點カラ
考ヘテ見マシテ、ヤハリ醫者ノ方デモ
厭フヤウニナリマス、又現在醫者ノ方
デモ藥ヲ集メルノニ非常ナ骨折ヲシテ
居リマス、皆公定相場藥ガ集マルナ
ラ宜イノデアリマスガ、モウ公定相場
デハ集マツテ參リマセヌ、例ヘバ「サ
ルバルサン」ニ致シマシテモ、三號
注射ハ十五點デアリマスカラ、田舎デ
ハ三圓デアリマス、所ガ普通一般ニハ
四圓五十錢カラ五圓デナケレバ、ドウ
シテモ手ニ入ラナイ、サウスルト結局
出來ナイト云フコトニナリマス、ソレ
カラ「デフテリア」血清モサウデアリマ
ス、結局現在ノ健康保險ノ單價デハ出
來ヌト云フコトニナル、是ハ大阪ノ保
險協會ガ言ツテ居ルヤウニ、關診療
ノ横行ト云フコトニナルと思ヒマス、
ヤハリ現在ノ狀況ト説ミ合セテ、兎モ
角病氣ヲ治スト云フコトガ大切ダと思
ヒマス、無理ニ醫者ノ方ノ懷ロヲ殖ヤ
セト云フ譯デハナイノデアリマスガ、
折角立派ニ出來上ツタ此ノ保險制度ヲ
巧ク運營サシテ行クノニハ、此ノ點ヲ
能ク御考ヘニナツテ、適當ナル診療費
ヲヤルト云フコトガ必要デヤナイカト
思ヒマス、成程保險組合ノ首腦部ハ保
險經濟ノ破綻ヲ來スト云フコトニナツ
テ困ルと思ヒマスガ、併シ一旦病氣ニ
ナツタニ取ツテハソシナコトハ構ッ
テ居ラレマセヌ、金ヲ餘計出シテモ一
時モ早ク其ノ苦痛カラ逃レタイト云フ
ノガ人情デアリマス、サウナルトヤハ
リ閣下云フ方ニ走ルコトニナツテ、結
局保險經濟ノ破綻ヨリモ、寧ろ健康保

險制度其ノモノヲ破綻サセルト云フコト
ニナルと思ヒマスカラ、此ノ點ヲ能ク
御考ヘニナツテ戴キタイト存ジマス
ソレカラ衛生局長ガ御見エニナラレ
タヤウデアリマスカラ、序ニ伺ヒマス
ガ、現在此ノ醫療制度ノ上カラ見マス
ト、自由開業醫、醫療團ノヤツテ居ル
モノ、府縣立病院、農業會ノヤツテ居
ルモノ、赤十字病院、濟生會、運輸通
信省ニハ鐵道ノ方ノ病院、逓信ノ方ノ
診療所、病院ガアルト云フヤウニ、非
常ニ種々多クニナツテ居ルヤウデアリ
マスガ、之ヲ何トカ統一スル方ガ醫療
ト云フ點カラ言ツテ宜イノデヤナイカ
ト思ヒマスガ、之ヲ御考ヘニナツタコ
トガアリマスカドウカ

○龜山政府委員 只今御話ノヤウニ、
現在ノ醫療機關ガ多元のデアリマスノ
ハ事實デアリマス、之ヲ御説ノ如ク一
元のニ纏メル、斯ウ云フヤウナ問題ニ
付テ考ヘタコトガアルカト云フ御尋ネ
デアリマスガ、診療機關ト云フモノニ
付キマシテハ、之ヲ往年開業醫制度、
或ハ醫療團國營制度、公營制度ト色々論
議サレマシタハ御存ジノ通りデアリ
マス、診療機關ヲ一元のニ纏メルト云
フコトニ付キマシテハ如何カト考ヘテ
居リマス、ソレハ今御指摘ニナリマ
シタヤウニ、政府ノ病院、道府縣立、
或ハ町村立、或ハ農業會、赤十字、濟
生會、醫療團等色々アリマスガ、是等
ハソレレノ使命ノアル診療機關デア
リマシテ、是等ヲ一元のニ纏メルト云
フコトニ付キマシテハ、相當ノ困難モ
アリマセウシ、又纏メマシテモレダ
ケノ實效ガ擧ルカ、斯様ニモ考ヘマス
ノデ、寧ろ理論のニハ色々考ヘラレマ
スルケレドモ、現状ニ於キマシテハ、
之ヲ一元のニスルノハ如何カト考ヘマ

ス、ソレヨリモ寧ろ醫療ノ普及、醫療
ノ適正ト云フ方面ニ重點ヲ置クベキデ
ハナイカト考ヘマス、御案内ノ如ク、
日本醫療團ヲ設立サレマシタ時ノ趣
旨、即チ結核療養機關ノ原則トシテ之
ヲ一元のニ運營シテ行ク、且ツ地方ノ
中央病院ト云フモノヲ醫療團ニ統合致
シマシテ、之ニ依リマシテ無醫村其ノ
他ノ醫療普及、及ビ醫療ノ向上ヲ期ス
ルト云フ趣旨デ、醫療團ハ出來タノデ
アリマス、此ノ日本醫療團ノ利用活用
ニ依リマシテ、今御話ノアリマシタヤ
ウニ、一元のニ出來ル診療機關ハ出來
ルダケ一元のニスルハ、是ハ考ヘラレ
ルデアリマスケレドモ、全國ノ診療機
關ヲ總テ醫療團ナラ醫療團、或ハ公營
ナラ公營ト云フヤウニ纏メルコトニ付
キマシテハ、十分研究ヲ要スル問題デ
ハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○渡邊(健)委員 今直グ統一スルト云
フコトハ、私モサウ必要ダト考ヘテ居
ルモノデハアリマセヌガ、其ノ横ノ統
制ト言ヒマスガ、連絡ト云フモノハ醫
師會ガ執ツテ居リマス、併シ無醫村ノ
診療、或ハ工場ヘ派遣スルト云フヤウ
ナ場合ニハ、ヤハリ厚生省ナラ厚生省
ガ一本ニ握ツテヤツタ方ガ非常ニ都合
ガ好イと思ヒマス、厚生省ガ何處々々
ノ工場ニ何人ノ醫者ヲ派遣シロト云フ
指令ヲ出ス場合ニ、例ヘバ運通省ノ所
管ニ入ツテ居ル病院ニ指令ヲナサツテ
モ中々言フコトヲ聽イテ呉レナイ、ダ
カラソシナ點カラ言ツテ、サウ云フ方
面ノ連絡ガ都合好ク滑カニ行クヤウナ
方法ヲ採ツタ方ガ宜イノデハナイカト
考ヘタカラ、私ハ此ノ質問ヲシタノデ
アリマス、ソレカラ統一ト云フヤウナ
コトバカリ言ヒマスガ、醫療行政ノ問
題デアリマス、現在府縣ノ醫療行政ニ

ハ衛生課ガアリマス、ソレカラ學校衛
生ハ教學課、社會保險ハ兵事厚生課ト
云フ風ニナツテ居リマス、是ハ單純ナ
事務ト云フ上カラ言ツタラ違フカモ知
レマセヌガ、現在醫者ガ非常ニ不足シ
テ居ル時、斯ウ云フコトヲ一元のニ纏
メタラ、醫者ガ各方面ニ活動スルコト
ガ出來ルヤウニナルノデアリマシテ、
現在ハ衛生課ニ居ル技師ハ學校衛生ノ
コトニ手ヲ着ケ、口ヲ容レルコトハ出
來マセヌ、ダカラ之ヲ一纏メニスル
カ、兵事厚生ノ方ヲ衛生課ニ纏メルト
云フヤウナコトハ出來ヌモノデセウ
カ、ソレカラ傳染病關係デアリマス、
傳染病關係ハ内政部ノ方ニ移管サレタ
ヤウデアリマスガ、是ハ是非警察部ニ
移管シテ戴キタイト云フコトヲ強ク念
願スルモノデアリマス、昨年モ發疹「チ
ブス」ガ非常ニ流行致シマシタガ、ア
レモ前ノヤウニ衛生課ガ警察部ノ指導
ノ下ニアツタナラバ、アレ程蔓延サセ
ナイデ済シタと思ヒマス、是非衛生課
ノ傳染病關係ハ少クモ警察部ニ入レ
テ戴キタイと思ヒマスガ、ドウデアリ
マスカ

○中井川政府委員 御意見ハ洵ニ御尤
モデアリマスガ、之ニ付キマシテ
ハ行政ノ實效ト云フコトモアリマス
ノデ、相當考慮ヲ要スルコトガアル
ト考ヘテ居ル次第デアリマス、又御話
ノアリマシタ醫療關係技術官ノ或ル程
度纏メテ、其ノ效率ノ活用ヲ圖ルベシ
ト云フ御意見、又其ノ御趣旨ハ御尤モ
ト存ジマスノデ、其ノ點ニ付キマシテ
ハ篤ト考ヘテ參リタイト存ジテ居リマ
ス、尙ホ傳染病關係ノコトニ付キマシ
テハ、衛生局長ヨリ御答ヘサスコトニ
致シマス

○龜山政府委員 傳染病豫防事務ハ現
在內政部デ主管シテ居リマスガ、是ハ
警察部ノ方ガ宜カラウト云フ御趣意、
御同感デアリマス、是ハ今御話ノ如ク
傳染病患者ノ早期發見ト云フ點カラ見
マシテモ、又防疫手當ト云フ所カラ申
シマシテモ、私ハ所謂警察關係ニ於テ
之ヲ取扱フノガ實效ヲ擧ゲル意味ニ於
テ適當ト考ヘマス、唯御承知ノ如ク機
構ノ問題ガアリマスルシ、尙ホ之ヲ衛
生課ノ事務中カラ傳染病ダケヲ切離ス
ト云フコトニ付テハ色々研究ヲ要シマ
スノデ、傳染病ダケノ事務ニ付キマシ
テハ、私共ハ御意見ノ通りト考ヘテ居
リマスガ、是ガ事務ヲ警察ノ方ニ移管
スルカドウカト云フコトニ付テハ研究
ヲ致シマシタ上デ、衛生課全般ノ問題
ト睨合シタ上善處シタイト考ヘテ居リ
マス

○渡邊(健)委員 質問ノ順序上又保險
局長サンニ御願ヒシタイと思ヒマス、
全國民ガ全部保險ニ入ルト云フ方針ノ
下ニヤツテ居ラレタノデアリマスガ、
近頃大都市方面ニ保險組合ガ出來ルト
云フヤウナ噂ヲ聞イテ居リマセヌガ、
其ノ方面ハドウナツテ居リマスカ

○伊藤(護)政府委員 御質問ノ通り國
民皆保險ト云フ標榜ヲ立テテ今日マデ
參ツテ居リマス、最初ノ目標ト致シマ
シテハ本年內全國ノ市制施行地全部
ニ國民保險組合ヲ設立シ、來年度再來
年度ニ於テ六大都市ニ普及サセル、斯
ウ云フ方針デ參ツタノデアリマス、御
承知ノヤウニ町村ノ方ニ於キマシテ
ハ、特殊ノ町村ヲ除キマシテ、國民保險
組合ノ設立ガ先ツ百「パーセント」出來
タト云フ位ナ程度マデ普及出來タ譯デ
アリマス、市部ノ方ニ參リマシテ今日
マデ出來マシタ組合數ガ九十デゴザイ
マス、今年度內ニ約百三十二達スルカ

ト思フノデアリマス、若干市部ノ方デ残リマスルガ、是ハ明年度中ニハ概ネ出来上ルカト思フノデアリマス、次イデ六大都市ノ問題デアリマスガ、六都市ニ付テモ等シク普及スル豫定デ参ッテ居ルノデアリマス、併シナガラ御承知ノヤウニ東京トカ、大阪トカ、名古屋ハ盛シク空爆ヲ受ケテ居ルヤウナ次第デアリマスノデ、此ノ空爆ヲ受ケテ居ル眞最中ニ組合ノ設立事務ヲ、市役所ノ吏員ヲシテ當ラシメルト云フコトハ、或ハ少シ考ヘナクテハナラヌノデハナカラウカト云フヤウナ點モアリマシテ、今日六大都市ニ對シマシテハ、是非來年度中ニ作レト云フ呼掛デナク、情勢ト睨ミ合セテ適當ニ善處スルヤウニシヨウ、斯フ云フヤウナ話合デ参ッテ居ル譯デアリマス

○渡邊(健)委員 ソレカラ農村ノ國民保險ノ問題デアリマスガ、國民保險ニハ醫療給付金ノ外ニ其ノ地方ノ色々ノ豫防、或ハ保健施設ヲヤルト云フヤウナ譯デ、保健婦ノ配置ト云フコトニ非常ニ力ヲ入レテ行クコトハ大變結構ダト思ヒマスガ、更ニ一步進ンデ傷病手當金、障害年金、或ハ遺族年金ノ遺族年金ノヤウナモノハナクテ宜イト思ヒマスガ、障害年金、傷病手當金ト云フヤウナ制度ヲ、健康保險ト同ジヤウニ布ク必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、ナゼカト云ヒマス、現在農村ト工場ニ働イテ居ル人ハドレダケ違フカト云ヒマス、段々大シタ違ヒガナクナツテ來テ居ルノデアリマス、詰リ農村ニ於テハ作付ストシテモ作付統制令ガアリマシテ、自分ノ好キナ作物ヲ作ル譯ニ行カヌ、出来タモノハ全部供出シナケレバナラヌ、サウシテモモ自家用保有米ガアルトシテモ、自家

用保有米ヲ削ツテモ供出制當ケハ完全ニヤラナクテハナラヌト云フ狀態ニナツテ來テ居ル、サウスルト國家性ニ於テハ工場ニ働イテ居ル人モ農村ニ働イテ居ル人モ結局同ジニナツテ來テ、特ニ自分ダケガ良ク、或ハ自分ノ自由ニスルト云フ場面ガ殆ドナクナツテ居ル、サウスルトヤハリ斯ウ云フ制度ヲ設ケテ、本當ニ安ジテ働ケルヤウニシテヤルコトガ本當デヤナイカ、斯ウ云フコトヲ御考ヘニナツテ居ラレカドウカ

○伊藤(健)政府委員 洵ニ御質問ノ趣旨ハ私共能ク分リマスシ御同感デアリノデゴザイマスガ、唯國民健康保險組合ノ保險經濟ノ上カラ申シマシテ、傷病手當金ノ支給程度ナラバハ出來ナイコトハナイト思フノデアリマス、現在デモ組合ニ依リマシテハ傷病手當金ヲ支給シテ宜シイコトニ相成ツテ居リマス、障害手當金、殊ニ障害年金ニナリマス、町村ノ保險組合デ果シテヤツテ行ケルカドウカト云フヤウナコトニ付テ、少カラズ心配ガアル譯デアリマス、殊ニ今日ノヤウニ空襲ノ危険モアリマスシ、或ハ先般ノ震災ト云フヤウナ場合ニ、各組合デ非常ニ一時ニ多發スル所ノ事故ニ對シマシテハ、危險分散ガ町村ノ組合デハ中々困難デハナカラウカト云フヤウナ感ジモ致スノデアリマス、殊ニ此ノ年金制度ニナリマシテハ、相當國トシテ考ヘナクテハイカヌノデハナイカ、町村組合ニ之ヲヤラセルト云フコトハ無理デハナイカト云フヤウナ感ジガ致ス譯デアリマス

○渡邊(健)委員 勿論サウ云フ制度ヲ行フトスレバ、是ハ現在ノ町村ノ保險組合ハ駄目ダト思ヒマス、併シ現在

組合ノ強制加入ト云フヤウナ制度ガ布カレテ居ル以上ハ、サウスルトガ本當デハナイカ、同時ニ又農民等ニ對シテ國家性ヲ認識サセルト云フヤウナ上ニ於テモ、斯ウシタ制度ヲ布クコトガ必要デヤナイカト思フノデアリマス、サウスラツテ参リマス、醫療機關モ段々官營或ハ半官營ニナツテ居リマスシ、又醫療ヲ受ケル方ノ側モ、段々個人デ受ケルト云フコトデナクナツテ來テ居リマス、段々何ト云フカ半官營ト云フコトニナツテ來テ居ルト思ヒマス、サウスルト茲ニ醫療國營ト云フ問題ガ起ツテ來ルト思フ、醫療國營ト云フ制度ニ、一步々々現在近付イテ行ツテ居ルト云フ考ヘガ深イノデアリマス、政府トシテハ醫療國營ニ對シテ現在ドシナ御考ヘヲ持ツテ居リマス

○龜山(健)政府委員 醫療國營ノ問題ニ付キマシテハ先程一寸申シマシタヤウニ、開業醫制度ト醫療國營、公營問題デ、政府ニ於テキマシテモ又醫師會ニ於テキマシテモ相當研究サレタ問題デアリマス、曾テ「聯合醫療國營ヲ實施致シマシタガ、其ノ結果ハ兎角ノ論議ガアリマス、現在ノ醫療制度トシテハ國營トカ或ハ開業醫制度トカ、サウスラ制度ニ依ラズシテ、醫療普及及ビ醫療ノ適正ヲ圖ルガ宜イノデヤナイカト思ツテ居リマスガ、醫療國營ノ問題ニ付テハ研究ハ致シマスケレドモ、其ノ程度デ止マツテ居ル、斯様ニ御承認ヲ願ヒマス

○渡邊(健)委員 衛生局長ハ衛生問題ニ付テハ非常ニ造詣ノ深い御方ト聞イテ居リマス、此ノ點餘程考ヘテ戴カナイト、又「聯合醫療國營」ト云フコトニナルト思ヒマス

ソレカラ醫師ノ問題デアリマスガ、

自由開業ノ醫師モ、官公立ノ病院ノ醫師モ、段々國家性ガ強クナツテ参リマシテ、徵用或ハ就業命令ガ出ルト云フ風ニナツテ参リマス、昨日政府ノ方カラ御伺ヒ致シマス、防空ノ問題デモ、防空ニ活動シテ居リマス醫師ガ空襲ノ時死亡スルト、最高千五百圓以下ノ一時金ガ戴ケルト云フ話デアリマス、ソレカラ傳染病ノ診療ニ從事シテ死ソダト云フ場合ニハ、國家トシテハ之ニ何ニモ構ツテ居リマセヌ、コンナコトデハ醫者モ安ンジテ防空方面ニ活動出來得ナイヤウナ場面ガ出テ來ルノデヤナイカト思ヒマス、勿論現在ノ醫師ハ全部喜ンデ挺身シテ呉レルト思ヒマスガ、併シ之ヲ國家トシテハ何トカイマシ考ヘテヤル必要ガアルト思ヒマス、ソレニ付テハヤハリ日本醫師會ガ當ルノガ一番宜イト思ヒマス、政府ガ積極的ニ補助カナンカヤツテ日本醫師會ニ其ノ共濟制度トカ何トカ云フ制度ヲ設ケテ、之ヲ補助シテヤルト云フヤウナ御考ヘガアルカドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○龜山(健)政府委員 今御述ベニナリマシタヤウニ、防空救護或ハ傳染病其ノ他ニ、醫師ノ各位ガ非常ニ奮闘ヲシテ居ラレマスコトハ、洵ニ國家ノ爲ニ御同慶ニ堪ヘナイノデアリマス、同時ニ我我厚生當局ト致シマシテモ、深甚ナ敬意ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、今御述ベノアリマシタヤウナ空襲ノ際、或ハ傳染病其ノ他ノ場合ノ爲ニ殉職セラレマシタ醫師ノ方々ニ對シマシテ、是ハハ他ノ同様ナ、例ヘバ警防團員デアリマストカ、或ハ監視隊員デアリマストカ、其ノ他ノサウ云フ方面トモ睨ミ合セマシテ今研究ヲ致シテ居リマス、又研究ト申ストオ叱リヲ受ケルカモ知レ

マセヌガ、他トノ關係モ相當アリマスノデ、其ノ點ヲ調整ヲ圖ルヤウニ研究致シテ居リマス、ソコデ、其ノ一ツノ方法トシテ、日本醫師會ニ於テ、今ノヤウニ殉職セラレマシタ醫師ノ共濟ヲスル、是ハ洵ニ結構ナコトデアリマスノデ、研究ヲ致シテヤツテ見ウオト思ヒマスガ、唯御案内ノヤウニ、日本醫師會ト云フモノハソレノ財源ガアリマセヌカラ、結局共濟制度トナリマス、國家ノ補助ニナリマスノデ、其ノ基ラ成シマス經濟上ノ點ガ日本醫師會ニドレダケゴザイマスガ、是モ一ツ調べマシタ上デ十分處置致シタイト思ヒマス、尙ホ醫師ノミナラズ、齒科醫師、藥劑師、其ノ他防空救護要員ノ問題ニ付キマシテハ、別途政府ニ於テ考慮シテ居ル、研究シテ居ルト云フコトデ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○渡邊(健)委員 次ニ醫藥品ノ問題ニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマスガ、昨日モ清水サシカラ藥品ガ非常ニ不足ダト云フ話ガアリマシタ、實際ニ於テ藥品ガ非常ニ足りナイヤウニ考ヘマス、或ル縣デ配給サレタ量ヲ見マス、主ナル藥品デ、例ヘバ「アスピリン」ノヤウナモノハ昨年ノ半分、一昨年ノ十分ノ一シカ配給サレナイ、「アミノピリン」ガ昨年ノ五分ノ一、一昨年ノ十二分ノ一、酒精ガ昨年ノ三分ノ一、一昨年ノ四分ノ一、安息香酸「ナトリウム」カ「フェイン」ガ昨年ノ四分ノ一、一昨年ノ八分ノ一、「エフェドリン」ガ昨年ノ三分ノ一、一昨年ノ二分ノ一、鹽酸「コカイン」ガ昨年ノ二分ノ一、一昨年ノ三分ノ一弱ト云フ風ニ非常ナ不足ヲ來シテ居ルヤウデアリマス、是ハ勿論現在戰爭シテ居テ、何物モ不足シテ居ル今日、已ムヲ得ナイ事情ダト思ヒマス、斯

ウ急激ニ非常ニ量ガ減ルト云フコトハ、國民保健ノ上ニ及ボス影響ハ非常ニ大キト思ヒマス、殊ニ藥品ハ酒ノヤウニチツト飲ンデ利ク、チツト飲ンデ我慢スルト云フ譯ニハ行カヌノデアリマス、或ル程度ノ分量ヲ飲マサナケレバ利カヌノデアリマス、ヤハリ或ル程度ノ藥ハ確保シテ行クコトガ是非必要デナイカト思フノデアリマス、段々時局ノ進展ニ伴フテ、モツト減ツテ來セウカ、或ハ是レ位ガ最低デアラウカ、勿論ソレハ分ラスト思ヒマスガ、現在ノ狀態ヨリ以上ナケレバ、是ハ國民保健上由々シイ問題デハナイカト思ヒマス、是ヨリ本年ハ殖エテ行ク望ガアリマセウカドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○龜山政府委員 醫藥品ノ缺乏ノ問題ニ付キマシテハ、昨日モ清水サシ、福田サシノ御質問ニ御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、洵ニ恐縮ニ存ジテ居リマス、其ノ節モ申上ゲマシタヤウニ、其ノ原料ガ軍需品、殊ニ決戰兵器ノ資材ト競合致シテ居リマス爲ニ、中々思フヤウニ參ラナイノデアリマス、今御指摘ニナリマシタ「アスピリン」「エフェドリン」其ノ他ニ付キマシテモ、物ニ依リマシテハ生産量ハ増シテ居ルモノモアリマスケレドモ、需要量ガ増大シテ參リマス關係上、一般民需トシテノ配給ニ困難ヲ致シテ居ルト云フヤウナモノモゴザイマス、當局ト致シマシテハ、出來ルダケ此ノ原料ノ確保ニ依リマシテ醫藥品ノ生産ヲ確保ラシタイ、斯様ニ努力ハ致シテ居リマス、ソコデ御尋ネノアリマシタ今年度——來年度トノ藥品ノ見透シデアリマスガ、是ハ戰局ノ推移及ビ製造能力其ノ他ヲ勘案致シマス、我々トシテハセメテ今年ノ第

一四半期程度ノ藥品ヲ確保シタイ積リデ努力致シテ居リマス、唯斯ウ云フ情勢デアリマスカラ何トモ申上ゲ兼ネルノデスガ、見透シトシテハ今年ヨリ少シ惡クナルノデハナイカ、斯様ニ御承知願ヒタイト思ヒマス、唯御話ガアリマシタヤウニ、重要醫藥品ニ付キマシテハ出來ルダケ之ヲ確保シ、今年度以上ニ生産致シタイ、斯様ナ熱意ヲ持ツテ居リマスコトヲ一ツ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○渡邊健委員 次ニ藥品ノ整理ニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、新統制品、竝ニ新製劑ノ整理ラシテ、主要ナル藥品ノ統合ラスルト云フ話ヲ聞キマシタガ、是ハ進行中デアリマスカ、ソレカラ又其ノ整理ノ目標ハ原料ヲ主トシテ、原料ノ方面カラ見テ品目ヲ整理シタノカ、或ハ醫療ノ必要上カラ整理シタノカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○龜山政府委員 只今整備中デアリマス、醫藥品製造業ノ整備ハ、第一點ハ先ツ重要醫藥品ヲ選定シテ之ニ生産ヲ集中スル、斯ウ云フ見地デ出發致シテ居リマス、御參考ニ申上ゲマシタラバ、重要醫藥品ヲ局方品ニ付テ三百五十二品目、局方以外ノ醫藥品ノ甲ヲ三百六十一品目、乙ヲ百九十四品目ヲ選定シテ、九百ニ近イ醫藥品ニ生産ヲ集中スル、是ガ第一點デアリマス、第二點ハ御指摘ニナリマシタ原料ノ問題カラ之ヲ整備セザルヲ得ナイノデアリマス、主タル點ハ此ノ二點デアリマスガ、之ニ從ヒテ從來ノ様子ヲ見マス、斯ウ云フ重要醫藥品ヲ生産シテモ、左程必要デナイ藥品ノ製造ヲ認メテ居リマス、原料ヲ横流シシ、或ハ關デ購入致シマスノデ、其ノ爲ニ折角作

ツタ重要醫藥品ヲ十分ニ活用出來ナイノデアリマス、サウ云フ意味モ加ヘテ茲ニ企業整備ヲ致シタノデアリマス、只今進行中デアリマシテ今月末ヲ以テ整備ヲ一應完了セシムル方針デ今進メテ居リマス、目下ノ所九分通り參ツテハナイカト考ヘテ居リマスガ、若干ハ豫定ヨリモ遅レルノデヤナイカト考ヘテ居リマス

○渡邊健委員 此ノ整理ニ付テ、整理スル、整理サレルト云フヤウナコトカラ、或ハ生産ガ非常ニ沈滞シテ居ル、或ハ「ストック」サレテ行クト云フヤウナ點カラ、現在餘計醫藥品ノ不足ガ起ツテ居ルノデハナイカト云フ感モスルノデアリマスガ、左様ナ點ハアリマセウカ、御伺ヒシタイト思ヒマス

○龜山政府委員 サウ云フ懸念モナイデハナイガ、只今マデノ我々ノ調査ニ依リテ重要醫藥品ニ付テハサウ云フコトハナイト思ヒマス、唯今マデ市場ニ出テ居タ大シテ必要デナイ醫藥品、所謂整備サレル方ノ藥品ニ付テハ、今ノ見透シノ關係上減産シテ居ルコトハ已ムヲ得ナイト思ヒマスガ、重要醫藥品ニ付テハ此ノ企業整備ノ爲ニ減産シテ居ルト云フヤウナコトハナイト考ヘテ居リマス

度ノ第一四半期ノ割當ガマダ來テ居リマセヌ、地方デハ第一四半期ノ割當ガマダ來テ居ナイ、割當ハ來テモ現品ガ來ナイ、來テモ多クテ半分位シカ來マセヌ、ソレカラ二、三箇月ハ必ズ遅レルト云フヤウナ狀態、ソレガ「スムー」ニ行ツテ居ナイノデアリマス、デアアルカラ夏必要ナ蓖麻子油ガ冬ニナツテ配給サレル、冬必要ナ解熱劑ガ夏配給サレルト云フヤウナ都合デ、ドウモ現在ノ所巧ク行ツテ居ナイ、是ハ色々御考ヘモアルト思フケレドモ、詳シクハ申上ゲナイガ、府縣ノ醫藥品配給株式會社ノ下ニ直ク配給所ヲ付ケテ、醫藥品小賣統制組合ノヤウナモノハ抜イタ方ガ、事務簡捷上宜イノデハナイカトモ考ヘマス、ソレカラ地方デハ醫師會ガ醫師向醫藥品ノ割當配給ニ與ルダケデアリマスガ、ソレハ唯報告ヲ受ケルダケデ少シモ干與シテ居ナイ、之ヲ機構上、日本醫師會ガ配給統制會社ノ方ノ配給ニ參與シ、又府縣ニ於テハヤハリ醫師會ガ相當強力ニ之ニ反映スルヤウナ方法ヲ執ツテ戴キタイト思ヒマス、ト云フノハ、是ハサウデナイトドウモ横流レヲスル虞ガアルト同時に、又割當配給ガアツテ、ソレヲ醫師會側ニ通知シテ來テ、是ダケ配給ガアツタカラト云フコトヲ各開業醫ニ言ツテモ、藥種屋（行）ト其ノ藥ハモウナイ、半年經ツテモ、一年經ツテモナイ、三年前ノ藥ガ配給ニナツテ居ナイ所ガ多イ、ソコデ之ヲ是非ヤツテ貰ハナケレバ、結局闇ニ流レルノデハナイカト云フ虞ガアルノデアリマス、ダカラ此ノ機構ヲ再檢討シテ戴キタイノデアリマセウカ、斯様ナ御考ヘハオアリデアリマ

度ノ第一四半期ノ割當ガマダ來テ居リマセヌ、地方デハ第一四半期ノ割當ガマダ來テ居ナイ、割當ハ來テモ現品ガ來ナイ、來テモ多クテ半分位シカ來マセヌ、ソレカラ二、三箇月ハ必ズ遅レルト云フヤウナ狀態、ソレガ「スムー」ニ行ツテ居ナイノデアリマス、デアアルカラ夏必要ナ蓖麻子油ガ冬ニナツテ配給サレル、冬必要ナ解熱劑ガ夏配給サレルト云フヤウナ都合デ、ドウモ現在ノ所巧ク行ツテ居ナイ、是ハ色々御考ヘモアルト思フケレドモ、詳シクハ申上ゲナイガ、府縣ノ醫藥品配給株式會社ノ下ニ直ク配給所ヲ付ケテ、醫藥品小賣統制組合ノヤウナモノハ抜イタ方ガ、事務簡捷上宜イノデハナイカトモ考ヘマス、ソレカラ地方デハ醫師會ガ醫師向醫藥品ノ割當配給ニ與ルダケデアリマスガ、ソレハ唯報告ヲ受ケルダケデ少シモ干與シテ居ナイ、之ヲ機構上、日本醫師會ガ配給統制會社ノ方ノ配給ニ參與シ、又府縣ニ於テハヤハリ醫師會ガ相當強力ニ之ニ反映スルヤウナ方法ヲ執ツテ戴キタイト思ヒマス、ト云フノハ、是ハサウデナイトドウモ横流レヲスル虞ガアルト同時に、又割當配給ガアツテ、ソレヲ醫師會側ニ通知シテ來テ、是ダケ配給ガアツタカラト云フコトヲ各開業醫ニ言ツテモ、藥種屋（行）ト其ノ藥ハモウナイ、半年經ツテモ、一年經ツテモナイ、三年前ノ藥ガ配給ニナツテ居ナイ所ガ多イ、ソコデ之ヲ是非ヤツテ貰ハナケレバ、結局闇ニ流レルノデハナイカト云フ虞ガアルノデアリマス、ダカラ此ノ機構ヲ再檢討シテ戴キタイノデアリマセウカ、斯様ナ御考ヘハオアリデアリマ

度ノ第一四半期ノ割當ガマダ來テ居リマセヌ、地方デハ第一四半期ノ割當ガマダ來テ居ナイ、割當ハ來テモ現品ガ來ナイ、來テモ多クテ半分位シカ來マセヌ、ソレカラ二、三箇月ハ必ズ遅レルト云フヤウナ狀態、ソレガ「スムー」ニ行ツテ居ナイノデアリマス、デアアルカラ夏必要ナ蓖麻子油ガ冬ニナツテ配給サレル、冬必要ナ解熱劑ガ夏配給サレルト云フヤウナ都合デ、ドウモ現在ノ所巧ク行ツテ居ナイ、是ハ色々御考ヘモアルト思フケレドモ、詳シクハ申上ゲナイガ、府縣ノ醫藥品配給株式會社ノ下ニ直ク配給所ヲ付ケテ、醫藥品小賣統制組合ノヤウナモノハ抜イタ方ガ、事務簡捷上宜イノデハナイカトモ考ヘマス、ソレカラ地方デハ醫師會ガ醫師向醫藥品ノ割當配給ニ與ルダケデアリマスガ、ソレハ唯報告ヲ受ケルダケデ少シモ干與シテ居ナイ、之ヲ機構上、日本醫師會ガ配給統制會社ノ方ノ配給ニ參與シ、又府縣ニ於テハヤハリ醫師會ガ相當強力ニ之ニ反映スルヤウナ方法ヲ執ツテ戴キタイト思ヒマス、ト云フノハ、是ハサウデナイトドウモ横流レヲスル虞ガアルト同時に、又割當配給ガアツテ、ソレヲ醫師會側ニ通知シテ來テ、是ダケ配給ガアツタカラト云フコトヲ各開業醫ニ言ツテモ、藥種屋（行）ト其ノ藥ハモウナイ、半年經ツテモ、一年經ツテモナイ、三年前ノ藥ガ配給ニナツテ居ナイ所ガ多イ、ソコデ之ヲ是非ヤツテ貰ハナケレバ、結局闇ニ流レルノデハナイカト云フ虞ガアルノデアリマス、ダカラ此ノ機構ヲ再檢討シテ戴キタイノデアリマセウカ、斯様ナ御考ヘハオアリデアリマ

○龜山政府委員 醫藥品ノ配給ニ付テハ洵ニ圓滑ヲ缺イテ居ルト云フ御非難ヲ、到ル處デ伺ツテ居リマシテ恐縮ニ考ヘテ居リマス、吾々トシテハ何等カ良イ方法ガアレバト色々苦心致シテ居リマスノデ、適當ナ機會ニ御教示ヲ承リタイト思ヒマスガ、今御尋ネノアリマシタ醫藥品ノ配給問題ニ付テ一寸申上ゲテ置キマスガ、現在醫藥品配給統制會社デ實施シテ居リマスモノハ三百八品目デアリマス、此ノ各府縣割當ニ付テハ、之ヲ醫藥品配給統制會社デ此ノ案ヲ作リマスレバ厚生當局ノ承認ヲ得テ居リマスガ、其ノヤリ方ニ付テハ、昨日モ申上ゲマシタヤウニ、各府縣ノ大口消費者ヲ除イテ、醫師、齒科醫師、藥劑師、獸醫師其ノ他人口等實績ヲ勘案シテ割當ヲ決メテ居リマス、此ノ中央カラ各府縣ニ配給スルコトニ付テ日本醫師會ノ干與ノ問題デアリマスガ、現在日本醫師會ノ役員ヲ顧問ニ舉ゲテ居リマスガ、實行上ト致シマシテハ、恐ラクオ入リニナリマシテモ、分ケ方ハ中々ムツカシイ問題デアリマシテ、是ナドハ日本醫師會ノ御意見ヲ此ノ方面ニ採リ入レルト致シマシテモ、實行上ハ甚ダ困難デハナイカト思フノデアリマス、何カ良イ案ガアリマスレバ承リタイト思ヒマス、又府縣デ配給致シマス場合、縣醫師會ニ付テハ報告ニ止メテ居ルト云フコトデアリマスガ、我々トシテハ寧ろ報告ヨリモ事前ニ關係方面デ協議シテ、適正公平ナル配給ヲ致スヤウニ指導致シテ居リマス、若シ御話ノヤウナ點ガアリマスレバ、十分注意致シマス、次ニ御話ニナリマシタ中央カラ地方ノ配給統制會社、配給所ノ仲介業者デアル藥品小賣業者ノ組合デアリマスガ、是ハ十分研究致シマス、

度ノ第一四半期ノ割當ガマダ來テ居リマセヌ、地方デハ第一四半期ノ割當ガマダ來テ居ナイ、割當ハ來テモ現品ガ來ナイ、來テモ多クテ半分位シカ來マセヌ、ソレカラ二、三箇月ハ必ズ遅レルト云フヤウナ狀態、ソレガ「スムー」ニ行ツテ居ナイノデアリマス、デアアルカラ夏必要ナ蓖麻子油ガ冬ニナツテ配給サレル、冬必要ナ解熱劑ガ夏配給サレルト云フヤウナ都合デ、ドウモ現在ノ所巧ク行ツテ居ナイ、是ハ色々御考ヘモアルト思フケレドモ、詳シクハ申上ゲナイガ、府縣ノ醫藥品配給株式會社ノ下ニ直ク配給所ヲ付ケテ、醫藥品小賣統制組合ノヤウナモノハ抜イタ方ガ、事務簡捷上宜イノデハナイカトモ考ヘマス、ソレカラ地方デハ醫師會ガ醫師向醫藥品ノ割當配給ニ與ルダケデアリマスガ、ソレハ唯報告ヲ受ケルダケデ少シモ干與シテ居ナイ、之ヲ機構上、日本醫師會ガ配給統制會社ノ方ノ配給ニ參與シ、又府縣ニ於テハヤハリ醫師會ガ相當強力ニ之ニ反映スルヤウナ方法ヲ執ツテ戴キタイト思ヒマス、ト云フノハ、是ハサウデナイトドウモ横流レヲスル虞ガアルト同時に、又割當配給ガアツテ、ソレヲ醫師會側ニ通知シテ來テ、是ダケ配給ガアツタカラト云フコトヲ各開業醫ニ言ツテモ、藥種屋（行）ト其ノ藥ハモウナイ、半年經ツテモ、一年經ツテモナイ、三年前ノ藥ガ配給ニナツテ居ナイ所ガ多イ、ソコデ之ヲ是非ヤツテ貰ハナケレバ、結局闇ニ流レルノデハナイカト云フ虞ガアルノデアリマス、ダカラ此ノ機構ヲ再檢討シテ戴キタイノデアリマセウカ、斯様ナ御考ヘハオアリデアリマ

度ノ第一四半期ノ割當ガマダ來テ居リマセヌ、地方デハ第一四半期ノ割當ガマダ來テ居ナイ、割當ハ來テモ現品ガ來ナイ、來テモ多クテ半分位シカ來マセヌ、ソレカラ二、三箇月ハ必ズ遅レルト云フヤウナ狀態、ソレガ「スムー」ニ行ツテ居ナイノデアリマス、デアアルカラ夏必要ナ蓖麻子油ガ冬ニナツテ配給サレル、冬必要ナ解熱劑ガ夏配給サレルト云フヤウナ都合デ、ドウモ現在ノ所巧ク行ツテ居ナイ、是ハ色々御考ヘモアルト思フケレドモ、詳シクハ申上ゲナイガ、府縣ノ醫藥品配給株式會社ノ下ニ直ク配給所ヲ付ケテ、醫藥品小賣統制組合ノヤウナモノハ抜イタ方ガ、事務簡捷上宜イノデハナイカトモ考ヘマス、ソレカラ地方デハ醫師會ガ醫師向醫藥品ノ割當配給ニ與ルダケデアリマスガ、ソレハ唯報告ヲ受ケルダケデ少シモ干與シテ居ナイ、之ヲ機構上、日本醫師會ガ配給統制會社ノ方ノ配給ニ參與シ、又府縣ニ於テハヤハリ醫師會ガ相當強力ニ之ニ反映スルヤウナ方法ヲ執ツテ戴キタイト思ヒマス、ト云フノハ、是ハサウデナイトドウモ横流レヲスル虞ガアルト同時に、又割當配給ガアツテ、ソレヲ醫師會側ニ通知シテ來テ、是ダケ配給ガアツタカラト云フコトヲ各開業醫ニ言ツテモ、藥種屋（行）ト其ノ藥ハモウナイ、半年經ツテモ、一年經ツテモナイ、三年前ノ藥ガ配給ニナツテ居ナイ所ガ多イ、ソコデ之ヲ是非ヤツテ貰ハナケレバ、結局闇ニ流レルノデハナイカト云フ虞ガアルノデアリマス、ダカラ此ノ機構ヲ再檢討シテ戴キタイノデアリマセウカ、斯様ナ御考ヘハオアリデアリマ

尙ホ醫藥ノ配給方法ニ付テハ十分改善シタイ意向ガアリマスノデ、御教示ガアレバ、是ガ再檢討實施ニ付テハ、大イニ我々ノ方デ御教示ヲ待ツテ居ル、斯様ニ御承知願ヒマス

○渡邊(健)委員 衛生局長ノ非常ニ御熱意アル御答辯ヲ得マシテ洵ニ有難ク存ジマス、醫藥品配給ト云フヤウナ點ニ付テハ、現在ノ統制品ダケデナシニ、ヤハリ醫師ダケシカ使ハナイ藥ハ之ニ入レテ戴キタイと思ヒマス、例ヘバ注射藥トカ、ヨク、今素人ガ持ツテ來ルノハ葡萄糖ノヤウナモノ、或ハ強心劑ノヤウナモノデアリマスガ、現在醫者ノ方デハ葡萄糖ガナクテ非常ニ困ツテ居リマス、其ノ葡萄糖ヲ素人ガ持ツテ來マス、アノ非常ニ貴重ナ葡萄糖ヲ、素人ガ全ク馬鹿ナ値段、關デ十五圓、二十圓ト云フヤウナ高イ値段ヲ出シテ賣付ケラレテ居リマス、其ノ人ガ幸ヒニト云ヒマスカ、病氣ニナツタラ使ハレテ居ルガ、病氣ニナラナカッタラ全ク死物デアリマス、活用出來ナイノデアリマス、コンナモノハヤハリ醫者以外ニハ賣ラヌト云フヤウナコトニ出來ヌモノデスカドウデスカ、之ヲ御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○龜山政府委員 今御話ニナリマシタ如ク、葡萄糖ニ付キマシテハ配給ヲ統制致シテ居リマスガ、葡萄糖注射液ハ配給統制ヲ致シテ居リマセヌ、隨ヒマシテ今御話ノヤウナ事實ガアリマスコトハ洵ニ御尤モデアリマス——一寸速記ヲ止メテ……

○村松委員長 速記ヲ止メテ……

○渡邊(健)委員 藥ノ問題ニ付テハ非常ニ熱意アル御答辯ヲ戴キマシテ有難ウゴザイマシタ、ソレカラ今度ハ國

民體位ノ問題ニ付テ御伺ヒ致シマス、昨日御伺ヒ致シマスルト、或ル種ノ傳染病ハ殖エタガ、或ル種ノ傳染病ハ非常ニ減ツテ來テ、勢ヒ徴兵検査ノ合格率モ非常ニ良イト云フ御話デ、洵ニ慶賀ニ堪ヘナイと思ヒマス、第一次歐洲戰爭ノ時ヲ考ヘテ見マスルト、「ドイツ」モ「ロシア」モ國民ノ體位ガ非常ニ惡クナツタト云フコトヲ聞イタノデアリマスガ、現在日本國民ノ體位狀況ハドンナモノデアリマスカ、段々低下シテ居リマスカ、ソレトモ戰爭前ト大體同ジヤウデアルカ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイと思ヒマス

○龜山政府委員 國民體位全般ノ問題ニ付キマシテ或ハ私ヨリモ健民局長ガ答ヘラレル方ガ宜イト思ヒマスガ、便宜私カラ今御話ノアリマシタ急性慢性傳染病、或ハ精神病、花柳病等ノ方面カラ見マシタ體位ノ問題ニ付テ申上デマス、昨日申上デマシタヤウニ、結核ノ蔓延ハ相當デアリマスケレドモ、之ヲ最近入手致シマシタ敵米英ノ結核ノ增加率ニ比較シテ見マスルト、我が國ハ是ヨリハ相當安心スベキ狀態ニアラナイデアリマス、急性傳染病ニ付キマシテハ、先程申上デマシタヤウニ數ハ少シハ上ツテ居リマスガ、其ノ傾向ハ良イ方ニ向イテ居ルノデアリマス、精神病、花柳病等ニ付キマシテモ戰前ヨリモ寧ろ減少モテ居ル狀況デアリマス、斯ウ云フ方面カラ見マスルト、體位ハ左程低下シテ居ナイ、斯様ニ言ヒ得ルノデハナイカト思ヒマス、他ノ問題ニ付キマシテハ健民局長カラ御答ヘ致シマス

○渡邊(健)委員 今ノ國民體位ノ問題ニ付テ健民局長ニ何カ御話ガアリマシタナラ伺ヒタイと思ヒマス

○入江(誠)政府委員 大體只今衛生局長カラ御話アリマシタ程度デ儘キテ居リマスガ、私ノ方ノ關係トシテ、乳幼児或ハ母性ノ體位ニ付テ申上デマス、乳幼児ニ付テハ大體ニ於テ死亡率、或ハ體重其ノ他カラ見マス、昭和十八年マデハ寧ろ段々好マシイ結果ニナツテ居リマス、十八年以後多少體重其ノ他減少ノ傾向ガアリマス、母性ニ付テモ十八年マデハ大體ニ於テ向上ヲ迎ツテ居リマスガ、最近稍、體重其ノ他ニ於テ減少ノ傾向ガアリマス

○渡邊(健)委員 國民體位、保衛衛生ノ上カラ見テ食糧問題ハ非常ニ重要ナ地位ヲ占メルモノト思ヒマス、ソレデ豫算總會アタリデモ、農商大臣ガ現在ノ二合二勺ハ確保スルト云フコトヲ言ツテ居ラレマス、併シ今年ノ食糧事情カラ、考ヘテ見ルト、是ハ容易ナラヌ問題ダト思ヒマス、ソレデ食糧ハ段々窮屈ニナツテ來ル虞ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、是ハ先々ノコトハ分リマセヌガ、現在食糧事情カラ言ツテ滿腹感ヲ與ヘルノハ一寸不足デハナイカト考ヘマス、併シ榮養上カラ言ツテサウ惡イトモ考ヘラレナイノデアリマス、「一キロ」當リ四十「カロリ」是非必要ダト云フヤウナコトヲ言ハレタ學者モアルヤウデアリマスガ、現在ノ食糧事情デ化學的ニ決シテ心配ナイノデ、是ダケ食ベテ居レバ十分活動出來ルノダト云フコトヲ、厚生省アタリカラ國民ニ納得サセテ置ク必要ガアルノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、是ハ「グイタミン」其ノ他色々ノ關係ガアツテ一概ニハ言ヒ得ナイと思ヒマスガ、現在ノ食糧事情カラ買出ラヤラナケレバ生キテ行カレナイノダト云フヤウナ考ヘヲ以テ買出部隊

ガ出テ、ソコニ混亂ヲ來シテ居ル現状ヨリ見テ、厚生省デ此ノ食糧事情等ヲ勘案シテ、此ノ榮養デ大丈夫ダト云フヤウナ化學的ナコトヲ發表シテ、國民ニ納得サセル必要ガアルノデハナイカト思ヒマスガ、ソナナ計畫デモオアリデアリマセウカ

○入江(誠)政府委員 御示シノ通り榮養學上カラ見テ國民體位保持ノ基準量ト申シマスガ、現在ノ配給量其ノ他現在攝取シマス食物ガ、基準量ヲ保ツニ足ルカドウカト云フコトハ、御承知ノ通り學者ノ間ニ色々議論ノアル所デアリマシテ、今ノ所意見ノ一致ヲ見ナイ部分モアリマスノデ、目下ニ付テ權威アル意見ヲ取ル爲ニ、科學技術審議會ニ諮問中デアリマシテ、近ク是ガ答申ガアルコト存ジマスノデ、サウ致シマスレバ御示シノヤウナ方向ヘ行クコトガ出來ルト思ヒマス

○村松委員長 花村四郎君

○花村委員 本案ニ牽聯ヲ致シマシテ運送省當局ニ二、三質問ヲ致シタイト思フノデアリマス、現下緊迫セル戰局ニ對處致シマシテ、就中「フイリピン」ノ此ノ深刻苛烈ナル戰局ニ鑑ミマシテ、補給輸送ニ關シマスル問題ガ如何ニ重大ナルカト云フコトハ、多言ヲ俟タザル所デアリマス、殊ニ今日ハ寧ろ補給戰線アルトマデ叫バレテ居ルノデアリマシテ、第一線ト生産面ヲ直結スルモノハ正ニ補給輸送船デアラナケレバナラナイト、斯ウ私ハ信ズルノデアリマス、斯様ナ見地ニ立チマシテ、其ノ重要ナル任務ニ就カレテ居リマスル船員諸賢ノ使命ノ如何ニ重大ナルカト云フコトモ、是亦多ク申上グル必要モナカラウト思フノデアリマス、然ルニ此ノ重大ナル補給輸送戰ニ直接參

畫致シテ居リマスル船員ニ對シマシテ、此ノ戰爭ガ苛烈ニナレバナル程、又一面ニ於テソレ等ノ人々ニ關スル犧牲モ多クナルモノト見ナケレバナラヌト思フノデアリマス、否寧ろ多クナリツ、アリ、而モ今日ニ於テハ是等船員ノ數量的ニ於テモ或ハ質ノ面ニ於キマシテモ、其ノ低下ヲ來シテ居ルト云フ話ヲ聞イテ居ルノデアリマス、洵ニ遺憾ナコトデハゴザイマスルガ、此ノ船員ノ數竝ニ量ニ對スル關係ガ、此ノ緊迫セル時局ノ様相ト脱ミ合セ、補給輸送戰ノ様相ト脱ミ合セ、如何ナル關係ニ置カレテ居ルカ、又其ノ給源ハ將來心配ナキヤ否ヤ、此ノ點ヲ先ヅ第一ニ御尋ネ致シテ見タイト思フノデアリマス

○有田政府委員 補給輸送戰ニ關スル船員ノ量、竝ニ質ニ對スル政府ノ確信アリヤ否ヤト云フ花村サンノ御尋ネデアリマスガ、何分今日我が國ノ勞務給源ハ十分デアルトマデ申シ兼ねル事情ニゴザイマスガ、今日船員、即チ海上輸送力ノ此ノ戰局ニ於ケル重大使命ニ鑑ミマシテ、我々ハ厚生當局其ノ他關係各省ト緊密ナル連絡ヲ執リマシテ、此ノ海員ノ充實ト云フコトニ付キマシテ最大ノ努力ヲ拂ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、大體ノ見透シト致シマシテ、今日船員ノ量ノ面ニ付キマシテハサウ御心配ニナル程ノコトハナイト思ヒマス、併シ決シテ我々ハ之ヲ以テ十分トハ思ツテ居リマセヌ、相當努力シテ船員ノ充實ヲ圖リタイト思ツテ居リマス、尙ホ質的ノ面ニ於キマシテハ我々ハ商船教育其ノ他海員養成施設ノ擴充整備ニ依リマシテ、質的低下ト云フコトヲ極力防グ、又一方船員ノ鍊成ト申シマスガ、左様ナ方面ニモ非常

畫致シテ居リマスル船員ニ對シマシテ、此ノ戰爭ガ苛烈ニナレバナル程、又一面ニ於テソレ等ノ人々ニ關スル犧牲モ多クナルモノト見ナケレバナラヌト思フノデアリマス、否寧ろ多クナリツ、アリ、而モ今日ニ於テハ是等船員ノ數量的ニ於テモ或ハ質ノ面ニ於キマシテモ、其ノ低下ヲ來シテ居ルト云フ話ヲ聞イテ居ルノデアリマス、洵ニ遺憾ナコトデハゴザイマスルガ、此ノ船員ノ數竝ニ量ニ對スル關係ガ、此ノ緊迫セル時局ノ様相ト脱ミ合セ、補給輸送戰ノ様相ト脱ミ合セ、如何ナル關係ニ置カレテ居ルカ、又其ノ給源ハ將來心配ナキヤ否ヤ、此ノ點ヲ先ヅ第一ニ御尋ネ致シテ見タイト思フノデアリマス

ナ努力ヲ拂ヒマシテ、海軍方面トモ緊密ナル連絡ヲ執ツテ、軍事的教練其ノ他ノ鍊成ヲシテ、遺憾ナキヲ期シツ、アルヤウナ次第アリマス

○花村委員 大體ニ於テ只今御質問申上ゲタ點ニ對シテ多クノ心配ヲスル必要ガナイト云フ御話デアツタノデアリマス、洵ニ結構ト存ジマス、併シ現決戰段階ニ於テ、益々海上輸送力ヲ要求スル多クノモノガアラウト思フノデアリマスルガ、斯ウ云フ場合ニ作戰ノ面ト睨ミ合セマシテ其ノ遺憾ナキヲ期スルニハ、ドウシテモ船員諸君ノ敢闘精神ヲ、彌ガ上ニモ昂揚スルト云フ一點ニ總テノ施策ガ集中セラレ、サウシテ其ノ不足ノ部分ニ於ケル面ヲ補ツテ行クト云フコトデアラネバナラヌト思フノデアリマス、ソコデ今日マデノ斯ウ云フ海上輸送ノ重大ナル任務ヲ擔當シ、斯ウ云フ重大ナル職責ニ於テ働イテ居ラレル所ノ船員諸君ノ勞苦ハ、洵ニ我々が想像スル以上ノモノガアルト思フノデアリマス

「委員長退席、仲井間委員長代理著席」
聞ク所ニ依リマスレバ、船員諸君ハ、家ヲ出ル時ハモウ既に死ヲ覺悟シテ行クノデアアル、再び生還ヲ期スルコトナキ決意ヲ以テ、妻子眷族ト別レテ海上輸送ノ職責ニ出掛ケテ行クト云フ話ヲ聞イテ居ルノデアリマス、又其ノ職責ニ於テ敢闘致シマス様相モ、殆ト第一線ニ於ケル陸海軍ノ軍人ト何等異ルコトナイ、洵ニ涙ガマシイモノガアルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、而シテ我が國ニ於ケル船長等ニ於テモ、其ノ中堅層ノ多クハ戰死ヲ致シテ居ル、殊ニ日本ニ於ケル有數ナル船長モ、其ノ多クハ戰死ヲ致シテ居ルト云フ話ヲ聞

イテ居リマスケレドモ、一向此ノ船員ノ敢闘振リガ世間ニ發表セラレテ居ラナイ、如何ニ苦心ヲシテ居ルカ、如何ニ大キナ手柄ヲ立テテ居ルカ、如何ニ祖國ノ爲ニ挺身以テ御奉公ヲシテ居ルカト云フコトハ、殆ト世間一般ニ知ラレテ居ラナイノガ今日ノ狀況デアリマス、斯ウ云フコトデアリマシテハ、船員ノ敢闘精神ヲ昂揚スルドコロデハナイ、寧ろ船員ノ氣持ヲ萎靡セシメ、或ハ暗クスルヤウナコトデ、益々海上輸送力ガ逆ニ低下スルヤウナ、洵ニ悲シムベキ狀況ニ陥ツテ行カケレバナラナイヤウニ思フノデアリマス、之ニ付テ運輸當局ニ於テ、斯ウ云フ船員達ノ海上輸送面ニ於ケル敢闘振リニ關スル情報ハ、ドウ云フ方法デ蒐集シテ居ルカト云フ、情報蒐集ニ關スル方途ニ付テ御尋ネテ致シタイト思ヒマス

○有田政府委員 今日船員ガ輸送補給戰ニ於テ軍人ニ優ルトモ劣ラヌ敢闘ヲシテ居リマスコトハ、花村サンノ御話ノ通りデアリマシテ、我々政府當局ニ於テモ常ニ船員ノ對シテ感謝致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、之ニ對シテ如何ナル方法ニ依ツテ船員ノ敢闘振リノ情報ヲ蒐集シテ居ルカト云フ御尋ネデアリマスガ、我々ト致シマシテハ所謂船會社ノ人ガ各地ニ散在シテ居リマスガ、其ノ主要ナルモノヲ海運總局ノ囑託ト致シマシテ、情報ヲ常ニ得テ居ルト云フコトガ一ツデアリマス、尙ホ一方海軍武官府ト緊密ナル連絡ヲ取リマシテ、其ノ方面ヨリモ報告ヲ得テ居リマス、尙ホ運輸通信省ノ外郭團體トシテ、御承知ノ通り海運報國團、或ハ船舶運賃會、或ハ機帆船關係ニ付テハ木船海運協會ト云フヤウナ團體トモ常ニ密接ナル連絡ヲ取リ、懇談會其ノ他

ヲ催シテ、又遭難船員ナドモ加ヘテ、常ニ其ノ敢闘振リヲ我々ハ承知シテ居ル次第デアリマス、大體左様ナ方途ニ依ツテ、我々トシテハ相當船員ノ情報ヲ知ツテ居ル積リデアリマス

○花村委員 實ハ運通省ニ於テ只今局長カ申サレマシタヤウナソレレ、情報機關カラ蒐集サレマシタ情報ノ幾部分カラ御聽キ致シタイノデアリマスガ、時間モアリマセヌカラソレハ省略致シマス、併シ若ハ御手許ニサウ云フ何等カノ事例ヲ御持チニナツテ居リマシタラバ、一、二最モ模範的ノモノヲ此處デ御報告ヲ賜ハレバ結構ダト思ヒマス

更ニ進ミマシテ、其ノ集メラレタ情報ニ付テ報道宣傳ヲドウシテ居ルカト云フコトハ、實ハ第二段トシテ御聽キヲ致シタイト思フノデアリマス、若シ夫レ局長ノ只今申サレマシヤウニ、各機關ヲ通ジテ情報ヲ蒐集サシテ居ルトシテモ、其ノ情報ニ基イテ報道宣傳ガ伴ハナカタラバ、情報ノ蒐集モ其ノ大部分ノ意義ヲ失フノデハナカラウカト思ヒマス、勿論ソレ等ノ情報ノ蒐集ニ依ツテ論功行賞等モシテ居リマセウガ、併シナガラソレハ内部的ノ關係デ少クモ外部ニ向ツテ或ハ世間ニ對シテ船員ノ如何ナルモノカ、如何ナル場所ニ於テ如何ナル敢闘ヲナシタカ、如何ナル功名手柄ヲ立テタカ、ドウ云フ御奉公ヲシタカト云フコトハ、殆ト知ラレテ居ラナイト申上ゲテ宜カラウト思ヒマス、新聞ノ記事等ヲ見マシテモ、陸海軍ノ軍人、或ハソレニ續イテ軍屬等ニ關スル動靜、行動、敢闘振リ等ハ殆ト毎日ノ如ク報ゼラレテ居ルノデアリマスガ、此ノ海上輸送ノ重大ナル面ニ働イテ居ル船員ニ關シテノ報道

宣傳ハ、殆ト見ルベキモノガナイト申上ゲテモ過言デハナカラウト思ヒマス、過般モ「サイパン」島カラ小舟艇デ、兵二名船員三名デ洵ニ好運ニモ生還ヲ致シタト云フコトデ、兵二名ノ寫眞ハ新聞紙ニ掲ゲラレテ、其ノ苦心ノ様ヲ報ゼラレテ居ツタノデアリマスガ、併シソレト殆ト其ノ苦心サニ於テ、或ハ又敢闘振リニ於テ、或ハ又功績ニ於テ何等劣ル所ノナイ船員諸君ニ對スル報道ハ少シモ載ツテ居ラナイ、斯ウ云フ事例ハ殆ト枚舉ニ遑ガゴザイマセヌ、斯様ナコトデドウシテ此ノ船員ノ敢闘精神ト云フモノガ昂揚セラルデアリマセウ、此ノ重大ナル使命ヲ負ツテ、サウシテ祖國ノ爲ニ生死ヲ超エテ働イテ居リマス斯ウ云フ船員ノ行動ニ對シマシテハ、殆ト世間デハ何等知ル所モナイ、隨ヒマシテ是等ノ人々ト對スル世ノ尊敬ノ念、或ハ感謝ノ念ト云フヤウナモノモ現ハレテ居ラナイ、隨テ船員等ノ氣持ガ萎縮シ、或ハ暗イ氣持ニナツテ行クト云フコトハ是ハ當然デアツテ、陸海軍ノ將兵ニ致シマシテモ、或ハ軍屬等ニ致シマシテモ、家ヲ出ル場合ニ於テハ隣組或ハ町會、知己、友人、總テノ者ガ悉ク集マツテ、サウシテ盛大ナル歡送ノ宴ヲ開イテ送ツテ居リマス、決シテ後顧ノ憂ヒノナイコトヲ力強ク申シテ彼等ヲ勇ミ立タシテ居ル、又還ツテ參リマスル場合モ同様デアリマス、隣組カラ町會、友人、知己カラ温キ喜ビノ手ヲ以テ迎ヘラレテ居ル、又ソレ等ノ人々ノ遺家族ニ對シテモ相當ニ尊敬ヲシ、或ハ又面倒ヲ見テ居ルノデアリマス、ケレドモ此ノ船員ガ御國ノ爲ニ命ヲ擲ツテ出發スルト云フノニ、其ノ出發ノ光景ハドウデアツタカ、又九死ニ一生ヲ得テ

サウシテ還ツテ參リマシタ時、ソレヲ迎フル世間ノ姿ハドウデアリマセウ、或ハ又ソレ等船員諸君ノ留守宅ニ對スル隣組ナリ或ハ町會ナリノ氣持ハドウデアリマス、是等ノ遺家族ニ對シマスル世間ノ考ヘ方ハドウデアリマス、洵ニ是ハ遺憾デアリマスガ、冷淡極マリナイトマデ言フテモ過言デナイヤウニ思フノデアリマス、隨ヒマシテ出テ行ク時モ唯家族ノミ送ラレテ送ラレテ出テ行ク、還ツタ場合モ喜ソデ迎ヘテ呉レル者ハ家族ノミデアリマス、隣組ニ於テモ町會ニ於テモ温カキ喜ビノ手ヲ差伸ベテ、サウシテ彼等ヲ遇シテ呉レナイ、斯ウ云フコトデドウシテ此ノ重大ナル使命ノ完遂ガ出來ルデアリマセウカ、斯ウ云フ關係ニ何時マデモ置クト云フコトハ此ノ重大ナル輸送力ニ對スル能率ノ向上化ヲ圖ル所以デハナカラウト思フ、斯ウ云フ點ニ對シマシテ殆ト此ノ報道宣傳ト云フモノガ行ハレテ居ラナイ、又茲ニ運輸通信省當局ニ於キマシテハ思ヒ及ボシテ居ラヌヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、洵ニ私ハ是ハ遺憾ニ堪ヘナイ一ツノ事例デアラウト思フノデアリマス、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ報道宣傳ニ關シマスハ其ノ機構ハドウ云フ機構ガアルノカ、或ハ其ノ機構ヲドウ働カシテ居ルノカ、又將來ハ此ノ現實ノ事實ニ鑑ミテドウ推進シテ行カウトスルノデアアルカ、ソレヲ次ニ御尋ネシタイト思フ

○有田政府委員 只今ハ花村サンカラ非常ニ船員ニ對スル御理解深イ御言葉ヲ戴キマシテ、我々トシマシテモ非常ニ感激ニ堪ヘナイノデアリマス、政府ト致シマシテモ船員達ニ對スル士氣昂揚ノ意味、又其ノ敢闘振リニ對シテ處遇スル意味ニ於テ、凡ユル方策ヲ講ジテ居

第六類第四號 船員保險法中改正法律案委員會議錄 第四回 昭和二十年一月二十六日

ル積リデアリマスガ、如何セン未ダ十分ニ國民ニ認識サレナイト云フコトヲ自ラモ感ジテ居ルヤウナ次第デアリマス、御承知ノ通り船員ニ對シマシテハ、曩ニ陸海軍屬トシテノ身分ガ與ヘラレマシテ、論功行賞益ニ戰死ノ場合ニ於キマシテハ靖國神社ニ合祀サレルノ恩典ニ浴シテ居リマス、又戰爭中ニ殉職致シマシタ船員ニ付キマシテハ、公葬即チ政府デ葬式ヲ行フト云フヤウナコトヤリ、又近クハ身分向上策ノ一ツト致シマシテ待遇官吏トシテノ身分ガ與ヘラレ、船員ノ地位ヲ社會的ニモ向上セシムルノ方途ヲ講ジテ居ルデアリマス、又國民ニ對シテ船員ニ對スル理解ヲ深カラシムル意味ニ於キマシテモ、所謂海員充實運動ナルモノヲ全國のニ展開致シマシテ、其ノ時ニ色色船員ノ論功行賞ヲ傳ヘ、隠レタル敢闘振リト云フヤウナモノヲ傳ヘテ居ルデアリマスガ、唯船員ノ敢闘振リノ眞實ヲ傳ヘマズ時ハ、ソレガ軍機ニ抵觸スルヤウナ虞レガ多分ニアリマスノデ、色々ナ意味ニ於テ十分ナル宣傳ト申シマスガ、左様ナ啓蒙運動ニ於テ不便ナ點ガアルノヲ非常ニ遺憾トスル次第デアリマス、併シ昨年度相當大衆ニ海員充實運動ナルモノヲ展開致シタノデアリマスガ、今年度ニ於テモ此ノ運動ヲ一層強力ニ起シマシテ、全國のニ各種機關ヲ通ジ左様ナ啓蒙運動ヲ展開シタイト思ヒマス、何分此ノ船員ニ對スル理解ハ日本ガ折角ノ海運國デアリナガラ、「イギリス」ナドニ比較シテ非常ニ差ガアルノデアリマス、是ハヤハリ社會ノ有識者ガ先ツ十分ニ認識サレ、ソレガ家庭ノ所謂主婦、女ノ方々ニマデ能ク理解サレテ、初メテ満足ナル結果ヲ齎スデハナカラウカ、如何ニ

船員自身、或ハ船員ノ家族ノ方々ノミガ考ヘラレテモ、ヤハリ周圍ノ者ガ餘程十分ナル理解ヲ持タナイトイケナイト考ヘマス、此ノ意味ニ於キマシテ此ノ議會ニ於テ先ツ再開劈頭總理ノ施政演説ニ、船員ニ對スル理解深キ御言葉ヲ戴キ、又今日ハ花村サニヨリ船員ニ對スル御意見ヲ承ツテ非常ニ我々ハ感激シタヤウナ次第デアリマス、我々モ足ラザル所ハ補ヒマシテ、今後一層斯様な啓蒙運動ニ邁進致シタイト考ヘテ居リマス、ドウカ議員皆様方ニ於カレテモ一層御協力下サイマシテ、此ノ船員ニ對スル世間ノ認識ヲ彌ガ上ニモ深カラシムルヤウ、今日ノ重大戰局ノ下ニ擔ツテ居ル海上輸送力増強ニ、又船員ノ使命ノ重大性ニ鑑ミマシテ、彌ガ上ニモ其ノ士氣ヲ昂揚セシムル意味ニ於キマシテ、一層ノ御支援ヲ重ネテ御願ヒスル次第デアリマス

○花村委員 私ノ御尋ねハ、要スルニ報道、宣傳ニ關スル何等カノ機構アリヤ、斯ウ云フノデアリマスガ、此ノ船員ノ敢闘振リニ對シマスル報道、宣傳ノ機構ハドウ云フ狀況デ拔ツテ居ルカト云フコトヲ、モウ少シ具體的ニ御話ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、只今ノ御説明ニ依リマス、船員ノ敢闘振リハ兎角軍機ニ觸ル、眞ガアルノデ、其ノ眞相ハ發表出來ヌ場合ガアルト云フヤウナ意味ノ御説デアツタヤウニ思フノデアリマスガ、併シナガラ是ハ陸海軍ノ軍人ノ敢闘振リ、或ハ眞ニ働イテ居リマスル其ノ儘ノ姿ヲ相當ナル程度マデ發表ヲ致シテ居ル、デアリマスガ陸海軍ノ如キ作戰ニ最モ密接ナル關係ヲ持ツテ居リマスル將兵諸士ノ動靜スラモ發表スルコトガ出來ルノデアリマスガ、況ンヤ船員ノ動靜ニ

付テ私ハ發表ノ出來得ナイ管ハナカラウト思フ、又總テガ軍機ニ、關スルコトノミデアルトモ考ヘナイノデアリマス、デアリマスルカラ、少クモ陸海軍ノ將兵ト同様ニ、ヤハリ其ノ功績ヲ一一般ニ知ラシメ、サウシテ世間ノ人カラ感謝ノ意ヲ表明セラレルト云フコトデ當然アラネバナラナイ、斯ウ思フノデアリマス、恐ラク衆議院ニ於キマシテモ今日ニ於テ此ノ船員ノ處遇ニ關シマスル感謝ノ意ヲ表明シタコトハ餘リ聞カヌノデアリマスガ、是ハ公ノ機關バカリデハナクシテ、世間ノ人モヤハリ同様ニ感謝ノ意ヲ表明スル場合ヲ見ナイノデアリマス、衆議院ニ於キマシテモ斯ウ云フ重大ナル使命ニ挺身致シテ居リマスル船員諸賢ニ對シマシテハ、何等カノ形ニ於テ感謝ノ意ヲ表明スベキガ適當デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フコトモ、要スルニ報道、宣傳ト云フモノガ、其ノ宜シキヲ得テ居ラナイ結果デアルト申上ゲテ宜カラウト私ハ思フノデアリマスガ、運輸通信省ニ於テ斯ウ云フ船員ニ關スル報道宣傳機關ガアルノカナインカ、アルトスルナラバ、ドウ云フ機構デアアルカト云フコトヲ一ツ明瞭ニ御答ヘテ願ヒタイト思フノデアリマス

○有田政府委員 政府ニ於ケル報道、宣傳機關ト致シマシテハ、御承知ノ通り情報局ト云フモノガ中心ニヤツテ居リマス、隨ヒマシテ運輸通信省ニ於ケル組織トシテハ、大キナ機構ハナイノデアリマス、海運總局ノ總務局ノ總務課ト云フ一課ノ一部デヤツテ居ルヤウナ次第デアリマス、併シナガラ我々ト云フコトノ必要性質痛感致シテ居リマシテ、昨年度ノ例ヲ一ツ申シマシテモ、

大政翼賛會、情報局、或ハ陸海軍其ノ他關係各省トモ密接ナル提携ノ下ニ、相當大キナ國民運動ヲ展開シタノデアリマス、サウシテ單ニソレハ線香花火のナモノデアツテハナラナイト云フ見地ノ下ニ、縣廳並ニ其ノ下部機構デアアル所ノ町村等ノ協力ヲ得テ、或ハ座談會、演説會、懇談會ト云フヤウナモノヲ各地ニ展開致シタノデアリマス、又學校ノ教職員ガ船員ニ對スル理解ヲ持ツト云フコトガ生徒ニ對スル非常ニ力強イ好イ結果ヲ齎スト云フ考ヘノ下、全國ノ中等學校、或ハ國民學校ノ先生ノ中カラ選抜シテ、海岸地帯ニ於テ、或ハ商船ニ乗組マセ、或ハ商船學校ヲ觀察セシメ、色々ナ方途ヲ講ジマシテ宣傳ヲヤツタ積リデアリマス、又女子ノ方面カラ船員ニ對スル理解ヲ持タスト云フコトガ相當效果デアルト云フ考ヘノ下ニ、所謂「わがね」會デ、女ノ有識者ノ方々ヲ、清水ノ高等商船學校其ノ他ノ商船學校ヲ觀察サセマシテ、船員ニ對スル理解ヲ深カラシメ相當效果ヲ收メタヤウナ次第デアリマス、尙ホ此處ニ持ツテ居リマスガ、斯様ナ「パンフレット」ト申シマスガ、斯ウ云フ小冊子ヲ全國ノ市町村等ニモ配付シ、或ハ婦人會方面ニモ配付致シタノデアリマス、又一方女學校生徒ニ船員ニ對スル慰問文、或ハ繪ヲ描カセテ船員ニ送ラス、女學校ノ生徒ガ左様ナコトヲアルト云フコトハ、同時ニ家庭ヲシテ船員ニ對スル理解ヲ深カラシメルコトニモナルト云フヤウニ考ヘマシテ、左様ナコトヲヤツタノデアリマス、是ハ相當好イ結果ヲ來シマシテ、本年度ノ所謂商船學校其ノ他ノ海員養成所ニ於ケル生徒募集ト云フヤウナ點ニ付テモ、昨年、或ハ一昨年ニ比シマ

シテ、數位ノ多イ應募者ガアルト云フヤウナ結果ヲ見タノデアリマス、斯様な方途ヲ一層擴大強化シテ、益々御趣旨ニ副フヤウニ邁進致シタイト思ツテ居リマス

○花村委員 御説明ニ依リマシテハツキリハ致シタノデアリマスガ、ソレハ一部ノ報道宣傳ニ過ギナイヤウニ思ヒマスノデ、モウ少シ積極的ニ新聞若シクハ「ラジオ」等ヲ通ジテ、此ノ船員ノ敢闘振リヲ知ラシムルヤウ、一層當局ノ御努力アラント御願ヒシテ置ク次第デアリマス、尙ホ又運輸通信省ニ於カレテモ情報蒐集ニ關スル機構ハ持ツテ居ラレルヤニ考ヘラレルノデアリマスガ、更ニ其ノ情報ニ基イテ之ヲ報道宣傳スル適切ナル機構ヲ持ツテ居ラナイト云フ憾ミガアルヤウニ思ヒマスノデ、モウ少シ進ンデ何等カノ之ニ關スル機構ヲ設ケ、其ノ集メマシタル情報ヲ情報局ヘ送リ、サウシ一般世間ニ對シ、新聞紙或ハ「ラジオ」ヲ通ジテ知ラシムルト云フヤウニ、モウ少シ大々的ナ、徹底シタ宣傳施策ヲ行ハレンコトヲ切望致シテ置ク次第デアリマス

ソレカラ只今一寸局長ノ仰セラレタ所ニ依リマス、船員ヲ官吏待遇ニシタト云フコトデアリマスガ、多分昨日カラサウ云フコトニナツテ居ルノデハナイカト私ハ記憶ヲ致シテ居リマス、軍屬ニナリマシタコトハ能ク承知シテ居リマスガ、官吏待遇ニスル場合ニ、高等官ハ海運士、判任官ニ相當スル者ハ海運士補ト云フヤウナ名前ヲ付ケルヤウナ趣ニ拜承致シテ居ルノデアリマス、海運士ト云フヤウナ、何ダカ産業戰士ト同一ノ感ジヲ與ヘルガ如キ名稱ヨリモ、寧ロ船舶官或ハ船舶官補トカ

云フヤウナ、モウ少シ明朝ナ意味ヲ持
ツ名前ヲ付セラレ、船員諸君ノ氣持ヲ
シテ明朗化シ、本當ニ名實共ニ優遇ス
ルノ方途ニ出ルベキデアラウト考ヘル
ノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ當局
ハドウ御考ヘデアリマスカ

○有田政府委員 船舶官試補
ト云フ名稱ニ付キマシテハ實ハ私共モ
相當考ヘタノデアリマスガ、待遇官
吏ノ性質トシテ官ト云フ名前ハ今日ノ
法制上相當難色ガアツタノデアリマ
ス、隨ヒマシテ今日公布セラレタ勅令
ノ下ニ於キマシテハ海運士、海運士補
ト云フ名稱ニナツタノデアリマス、戰
時デアルカラソナ今日ノ法制ニコダ
ハラヌデモ宜イデハナイカト云フヤウ
ナ御話モ出ルカト思ヒマスガ、此ノ名
稱ノ問題ハ今日マデノ法制ガ前例トナ
ツテ居ル以上ハ、中々ソコマデ飛躍出
來ナカツタノデアリマス、是ハ法制局
ニ轉嫁スル譯デアリマセスガ、其ノ
方ニ難色ガアツテ遺憾ナガラ實現出來
ナカツタ、併シ抑、此ノ待遇官吏制度
ナルモノハ、今日ノ法制下ニ於テハ相
當飛躍ノナ制期ナ制度デアリマシ
テ、政府トシテハ相當思切ツタ措置ヲ
ヤツタノデアリマス、モウ既ニ勅令公
布済デアリマシテ、遺憾ナガラ名稱ノ
點ハ御趣意ニ副ヒ兼ネルノデ、惡シカ
ラズ御諒承ヲ願ヒマス

○花村委員 私ノ質問ハ是デ終リマス
ガ、要スルニ重大ナル海上輸送ノ面デ
働イテ居ル船員諸君ノ地位ガ向上シ、
其ノ待遇ガ改善セラレコトハ洵ニ結
構デアルト存ジマス、本船員保險制度
モ其ノ一ツノ現ハレデアラウト思フノ
デアリマスガ、尙又物質的ニモ將又精
神のニモ、大ニ改善スベキ面ガ多イ
ト思ヒマスノデ、尙ホ一段ト是等船員

諸君ノ優遇ノ方途ヲ講ゼラレテ、重大
ナル海上輸送ノ面ニ働イテ居ル船員諸
君ノ戰意ヲ益、昂揚セシメ、其ノ敢闘精
神ヲ彌ガ上ニモ燃エ立タセデ、此ノ重
大ナル補給輸送ノ完璧ヲ期セラレンコ
トヲ切ニ御願ヒ致シマシテ私ノ質問ヲ
終リマス

○角委員 花村委員ノ御質問ニ關聯致
シマシテ、船員待遇問題ニ付テ一言簡
單ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、昨日
ノ此ノ委員會ニ於ケル船員ノ待遇問題
ニ付テノ私ノ質問ニ對スル當局ノ御答
辯ニ依ツテ略、了承ハシテ居リマス
ガ、アト二點、バカリ簡單ニ御伺ヒ致シ
タイト思ヒマス

先ツ第一ニ船員保險法ノ第五十七條
ノ二項ニ關スル問題デアリマスガ、本
條ニ依リマスレバ船員ノ福祉ヲ増進ス
ル爲ニ政府ハ必要ナ施設ヲナスコトヲ
得トアリマスガ、現ニドレダケノ施設
ヲ政府ガヤツテ居リマスルカ、其ノ概
要ノ御説明ヲ求メタイノデアリマス
ソレカラ第二ニ戰時危險ニ依ル遭
難、即チ戰死シタ者トカ、或ハ癩疾不
具ニナツタ者ノ子弟ノ教育問題ニ付テ
政府ハ如何ニ之ヲ考ヘテ居ルカト云フ
問題デアリマス、御承知ノ通り軍人ノ
場合ハ、軍事保護院デ其ノ子弟ノ教育
ニ付テハ國家給付ノ下ニ育英事業ヲヤ
ツテ居ルノデアリマス、サウシテ其ノ
子弟ノ志望スル學校ニ自由ニ入學セシ
メテ居リマス、軍人ノ場合ハ斯クノ如
ク保證シテ居ルノデアリマスガ、今日
ノ船員ハ、其ノ職分ハ御承知ノ通り既
ニ國家性ヲ持ツテ、日常ノ勤務ニ於キ
マシテモ第一線ノ軍人ニ優ルトモ何等
劣ル所ハナイノデアリマス、隨テ戰時
危險ニ依ル遭難者ノ數モ、軍人ノソレ
ト比較致シマシテ劣ツテ居ナイノデ

アリマス
〔仲井間委員長代理退席、委員長
著席〕

此ノ事情カラ申シマシテ、政府デハ船
員優遇問題ニ付テ色々考ヘテ居ラレル
ヤウデアリマスガ、是等戰死者並ニ癩
疾不具者ニナツタ船員ノ子弟ノ教育ニ
付キマシテハ、國家ノ費用ヲ持チマシ
テ、彼等子弟ノ望ム學校ニ之ヲ入學セ
シメ、以テ後顧ノ憂ヒノナイヤウニ立
派ナ育英制度ヲ布クト云フコトハ最モ
肝腎ナ方法デアリマシテ、恐ラク是ハ
船員優遇問題ノ中デモ最モ考ヘルベキ
重大問題デアラウト私ハ存ジマス、既
ニ船員ハ官吏待遇トナツテ身分ヲ保障
サレテ居ル今日デアリマスカラ、此ノ
育英制度ハ當然政府ハ之ヲ行フベキモ
ノデアルト私ハ信ジマシテ、特ニ當局
ノ明快ナル御所見ヲ拜承致シタイ次第
デアリマス

○伊藤(護)政府委員 最初ノ第一問デ
アリマスガ、船員ニ對スル福祉施設ノ
現在ヤツテ居リマスル狀況、是ハ昨日
富田委員ノ御質問ノ時ニ一寸御答ヘ申
上ゲタノデアリマスガ、本年度ノ豫算ニ
於キマシテハ大體六十五萬圓ノ船員保
險特別會計ニ計上致シテ居リマス、來年
度ノ豫算ニ於キマシテハ九十一萬圓ヲ
準備シテ居リマス、現在ヤツテ居リマ
ス事業ハ、全國ノ主要都市ニ健康診斷
ヲ囑託スル才醫者サナヲ囑託致シマシ
テ、サウ致シマシテ船員諸君ノ健康診
斷ヲ行フ、診斷ヲ行ヒマシタ結果、保
養ヲ要スル者ニ對シマシテハ保護所ニ
之ヲ收容スル、其ノ保護所ノ經營ガ今
日全國ニ二十四箇所設ケテアリマス、
尙ホ船員諸君ニ對シマシテ榮養劑ノ無
料支給、或ハ又小型船ニ付キマシテハ
急救藥ノ設備、或ハ又船員ニハ御承知

ノヤウニ花柳病ガ最モ多イ譯デアリマ
スカラ、此ノ花柳病豫防具ノ配給、サ
ウ云フ風ナ仕事ヲ致シテ居リマス、尙
ホ今後不具癩疾ノ船員ニ對シマスル職
業輔導デアリマスルカ、其ノ治療ト
カ云ツタヤウナ方面ニ於キマシテ、溫
泉治療ヲセシメルトカ云ツタヤウナ各
種ノ施設ヲ講ジテ行キタイト思フノデ
アリマス、運通省當局ト連繫ヲ取リマ
シテ、密接ナル有機的ナル各種ノ福祉
厚生施設ヲ講ジテ行キタイト存ジテ居
ル次第デアリマス

○有田政府委員 船員ノ福利厚生施設
ニ付キマシテハ先程保險局長カラ御話
ガアツタノデアリマスガ、其ノ外ニ尙
ホ運輸通信省ト致シマシテモ、陸海
軍、市町村等ト緊密ナル連繫ノ下ニ、
或ハ船員ノ宿泊所、或ハ休憩施設ト云
フヤウナモノヲ整備充實スル、今回新
タニ豫算ニモ計上致シマシテ、宿泊
所、或ハ休憩所、其ノ他ノ施設ノ擴充
ニ努メテ居ルヤウナ次第デアリマス、
尙ホ遭難船員、或ハ其ノ遺家族ニ對ス
ル施設ト致シマシテハ、御承知ノ通り
今日日本海員救済協會ト云フモノガ
アリマス、ソレヲ通ジマシテ諸般
ノ援護ヲヤツテ居ルノデアリマス、政
府ト致シマシテモ此ノ救済協會ニ相
當ノ金額ヲ補助金トシテ與ヘ、政府、
援護會一體トナリマシテ船員、遺家族
ノ援護ニ努メテ居ルヤウナ次第デアリ
マス、併シナガラ未ダ之ヲ以テ十分ト
ハ考ヘマセヌデ、今後一層努力致シタ
イト考ヘテ居リマス

○角委員 遭難、戰死者等ノ子弟ニ對
スル育英事業ニ付テ政府ノ御考ヘヲ伺
ヒタイ
○有田政府委員 其ノ點ニ付キマシテ
モ救済協會ニ於テヤツテ居ルノデア

リマス、併シ未ダ皆サソニ申上ゲル程
十分デハナイノデ、一層之ヲ擴充強化
致シタイト考ヘテ居リマス

○角委員 現在ヤツテ居ル育英事業ハ
洵ニ微々タルモノデアリマシテ、今日
ノ船員ノ職分ニ對應シ、而モ戰時危險
區域ヲ突破シテ居ル船員ニ報ユルニハ
足ラナイト信ジテ居ルノデアリマス、
ソコデ政府ハ此ノ育英事業ニ付テ特別
ノ考慮ヲ致シ、之ヲ獨立シテ、其ノ費
用ガナケレバ豫備金カラデモ支出致シ
マシテ、獨立ノ機關トシテ完全ナモノ
ヲ設ケテヤルト云フ意思ハアリマセヌ
カ

○有田政府委員 日本海員救済協會
ト云フノハ、恰モ軍人援護會ニ相當
スルノデアリマス、只今私共ト致シマ
シテハ、此ノ援護會ヲ通ジテ強力ニ運
用シテ行ク方ガ適切デハナカラウカト
存ジテ居リマス
○村松委員長 菅又君
○菅又委員 私ハ極メテ簡單ニ「デフテ
リア」血清ノ問題ニ付テニ、三御伺ヒ
致シタイト思ヒマス、實ハ昨年デシタ
カ、前灘尾衛生局長ニ、ドウモ「デフ
テリア」ノ血清ガ少イヤウダ、治療上
洵ニ困ルガト云フコトデ御尋ネシマシ
タ所ガ、其ノ答ヘニ、サウ云フコトハ
ナイ、六箇所デ血清ヲ大量のニ作ラセ
テ居ルカラト云フコトデ、大變力ヲ得
タヤウナ譯デゴザイマス、實ハ私共四
十年來醫者ヲヤツテ居リマスガ、一番
恐ルベキモノハ「デフテリア」ダト考ヘ
テ居リマス、併シナガラアレハ治療ノ
時期ヲ失シナカッタナラバ、アノ位治
リ易イ病氣ハナイト考ヘテ居リマス、
然ル所政府ハ今ドウ云フ考ヘデゴザイ
マスカ、ソレ程大切ナ「デフテリア」血
清ヲ醫者ノ手ニ決シテ渡シテ居ナイ、

其ノ方法ハ、今全國ノ町村役場ニ對シテ引換券ト云フモノヲ各町村長ニ渡シテ置キマシテ、サウシテ例ヘバ私ノ所ニ患者ガ參リマス、ア、是ハ「デフテリア」ダ、ダカラ其ノ「デフテリア」ノ發生屆ヲ書イテ、サウシテ其ノ町村ノ役場ニヤリマス、町村ノ役場デハ引換券ヲ吳レマス、今朝診斷ヲシテモ、我々ガ其ノ藥ヲ手ニ入レルノハ明日デス、サウスルト患者ガ少シ遅レテ來タナラバ、モウ既ニ治療ノ時機ヲ失シテ、遺憾ナガラドウスルコトモ出來ヌト云フ狀態デゴザイマス、是ハ獨リ私バカリデハナク、全國ノ開業醫ハ齊シクサウ云フ惱ミヲ致シテ居リマス、何ガ故ニサウ云フコトヤルノカ、先ヅ以テ一刻ヲ爭フ所ノ、アレ程恐ロシイ傳染病デアル「デフテリア」ノ血清ヲ何故ニ醫者ニ預ケテ居ナイノカ、ソレヲ一ツ御尋ネ致シマス

○廣瀨國務大臣 「デフテリア」ノ血清ノ問題ニ付キマシテハ、從來色々努力ハ致シテ來テ居ツタノデアリマスケレドモ、不足勝テデアリ、又其ノ配給ニ付キマシテモ十分ニ行ツテ居ラヌ點ガアルト存ジマス、是等ノ點ニ付キマシテハ十分ニ改善ヲ加ヘタイト思ヒマス、尙ホ詳細ノ點ハ政府委員カラ御話ヲ申上ゲタイト思ヒマス

○龜山政府委員 只今御話ノアリマシタ如キ「デフテリア」血清ノ配給方法ヲ執ツテ居リマスガ、ソレニ付キマシテ、御意見ノ如ク、各醫師ニ相當數ノ「デフテリア」血清ヲ事前ニ配給致シテ置クト云フ問題デアリマス、是ハ御案内ノ如ク現在「デフテリア」血清ニ相當數ノ餘裕ガアレバ、或ハサウ云フ方法モ考ヘラレマスガ、中々サウ云フ風ニ參リマセヌ、隨ヒマシテ各醫師ニ配給

致シマスヨリハ、寧ロ最寄リノ配給所ニ固メテ配給致シテ置キマシテ、サウシテ利用スル方ガ、一定數ノ「デフテリア」血清ヲ各醫師ニ配給スルヨリハ能率的デアル、斯様ナ考ヘカラ今御指摘ノヤウナ方法ヲ執ツテ居リマス、今御話ノアリマシタヤウニ、引換券ヲ要求サレテ一日掛ルト云フヤウナ場合ガアリマスレバ、ソレハ配給所ヲ適當ニ考慮致シマシテ、即日、又最モ短イ時間ニ入手出來マスヤウニ、配給所ノ設置、増設ト云フ點ニ付テハ十分ニ考慮ヲ致ス積リデアリマス

○香又委員 只今衛生局長カラ適當ニ配給所ヲ作ツテ、ソコデ配給ヲスルト云フ御話デアリマシタガ、是ハ私ガ今申上ゲマシタコトハ洵ニ遠慮イコトデ、是非トモサウ云フコトデナイヤウニ御願ヒシタイ、ソレハ斯ウ云フコトデス、今マデ政府ガ御執リニナツテ居ツタヤウナ方法デハ治療ニ間ニ合ハナイ、私ノ實際ノコトヲ申上ゲルト、先ヅ一寸發病シタバカリナラ、所謂三號血清千五百單位デビツタリ治リマス、一箇月カ二箇月前デアリマシタカ、私ノ所ニ夜中患者ヲ連レテ來タ、咳ガ惡イト云フノデ症狀ヲ見マス、ヤハリ扁桃腺ニ右左ドモ、チヨボノト皮膜ガ出來マシテ、ア、是ハ「デフテリア」ダト分ツタ、所ガ何處ノ醫者ニ行ツテモ血清ガナイ、ソレデ明日ノ朝夜ガ明ケルノヲ待ツテ書付ヲ書イテヤルカラ、ソレヲ役場ニ行ツテ引換券ヲ貰ツテ來イト言ツタラ、明日ノ晝時分デシタカ、引換券ヲ持ツテ參リマシタノデ、私ノ所デモ洵ニ手不足デ困ツテ居リマシタケレドモ、仕方ガナイカラ四、五「キロ」位モアル所ニ其ノ藥ヲ買ヒニ參リマシタ、所ガ其處ニモアリマ

セヌデ、結局今度ハ宇都宮——私ノ所カラ宇都宮ニハ十六、七「キロ」アリマスガ、其處ヘ行ツテ買ツテ參リマシタ、サウ云フ譯デ患者ガ來タ其ノ翌日ニ治療ガ出來マセヌデ、丁度三日目ニ治療ヲ致シマシタ、最初ニ血清ガアレバ、千五百單位デ濟ムモノガ、丁度三號血清、四ツ、六千單位ヲ使ヒマシテ、幸ヒ治リマシタ、サウ云フ次第デアリマスカラ、是ハドウシテモ醫者ノ手ニ何等カノ方法デ、假令千五百單位デモ二千單位デモ宜イカラ、渡シテ置クト云フ方法デナイト、一ツノ配給所ヲ拵ヘテ云々ト云フコトデハ、ヤハリ是ハ町村長ニ引換券ヲ渡シテ置イテヤルノト少シモ違ハナイト思ヒマスノデ、尙ホ一ツ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

○廣瀨國務大臣 只今御話ニ付キマシテハ、當局ニ於キマシテ尙ホ十分ニ研究ヲ致シタイト思ヒマス

○香又委員 私人醫者ヲヤツテ居リマス關係上、今申上ゲマシタ通り機會アル毎ニ「デフテリア」血清ハドウシテモ醫者ノ手ニ渡シテ呉レト云フ意味ノ希望ヲ申上ゲテ居リマスガ、マダノ舊態依然トシテ一向ソレヲ改メテ呉レマセヌデ、全國ノ開業醫ハ治療上非常ニ困ツテ居リマス、ト同時ニ、患家モ非常ニ迷惑シテ居ルコト存ジマス、殊ニ昨年カラ只今ニ掛ケマシテ「デフテリア」ノ流行ハ非常ニ多イデアリマス、サウ云フ情勢ニ鑑ミラレマシテ、何トカシテ醫者ノ手ニ一日モ早ク此ノ血清ヲ渡リマスヤウニ一ツ希望ヲ申上ゲテ置キマス、尙ホ一ツ申上ゲテ置キタイコトハ、是ハ疎開兒童ハ皆持ツテ居リマス、是ハドウ云フ譯カ、私ハ政府ノ處置ヲ疑ツテ居リマス、私共

ノ村ニモ疎開兒童ガ來テ居リマスガ、會テ餘程手遅レノ「デフテリア」患者ガ參リマシタノデ、使テ役場ニヤリマシタガ、役場ノ方ニモナイ、役場ノ近所ニ疎開兒童ガ居リマスノデ、疎開兒童ヲ連レテ參ツタ先生ノ所ニ行ツテ、血清ヲ二ツ三ツ借りテ來テ私ノ所ニ届ケテ呉レマシタ、サウ云フ實例ガアリマスノデ、ドウモ全國ノ疎開兒童ニ「デフテリア」ノ血清ヲ渡シテ置クト云フノモ、惡イトハ申シマセヌガ、サウ云フコトナラバ、寧ロ醫者ノ方ニ何トカシテ渡シテ戴キタイ、重ネテ希望ヲ申上ゲテ置キマス

○龜山政府委員 只今御話ノアリマシタ「デフテリア」血清ノ配給方法ニ付テ大臣カラ改善スルト云フ御話ガアリマシタガ、ソレニ付キマシテ一應コチラノ今マデノ狀態ヲ申上ゲタイト思ヒマス、「デフテリア」血清ハ昨年ノ六月マデハ相當餘裕ガアツタノデアリマス、然ル所原料資材デアリマス馬ノ入手ニ非常ニ困難ヲ來シマシタ、隨ヒマシテ昨年ノ七月カラ十月マデト云フモノハ洵ニ慘憺タル狀態ヲ示シマシタ、當局ニ於キマシテモ非常ニ心配ヲ致シマシテ、急速ニ手ヲ打チマシテ、十一月、十二月ニ至リマシテ大體六月以前ノ狀態ニ歸シタヤウナ、次第デアリマス、目下ノ所ハ生産ハ極メテ順調デアリマスガ、唯現在ノヤウナ狀態デ馬ノ入手ガ非常ニ困難デアリマス爲ニ、今御述ベノアリマシタヤウニ、全國ノ開業醫ノ方ニ適當數ヲ豫メ配給ヲシテ置クト云フ餘裕ハゴザイマセヌ、ドウシテモサウ致シマスト藥ノ退藏ニナル、血清ノ退藏ニナル、唯開業醫ノ居ラレマス地方ニ依リマシテモ、配給所ガ遠隔デアル、或ハ非常ニ御不便デアルト云フ所ニ付

キマシテハ、尙ホ十分考慮致シマシテ、或ハ配給所ノ新設、場合ニ依レバ今御指摘ノアリマシタ疎開兒童ノ場合ニ考ヘマシタヤウナ方法ヲ採ツテモ宜イカト思ヒマスガ、唯其ノ場合ニ藥品ノ退藏ノ問題ト睨ミ合セテヤルト云フコトダケ御諒願ヒマス

次ニ疎開兒童ニ對シマシテハ、大體疎開ノ以前ニ「デフテリア」ノ豫防注射ヲ勵行セシメタノデアリマスガ、此ノ點ガドウモ思フヤウニ參ツテ居リマセヌ、隨テ非常ニ懸念ヲサレマシタノデ、此ノ「デフテリア」ノ血清ヲ疎開兒童用トシテ、二萬本全國ニ對シマシテ特配ヲ致シタノデアリマス、是ハ今特ニ疎開兒童ノ教師ニ渡スト云フヤウナコトデアリマセヌデ、ヤハリ申上ゲタ配給所ノ方デ之ヲ貯藏シテ置ク、唯配給所ガ遠隔ノ場合ニハ配給所ノ新設ヲ認メル、斯ウ云フ方針ニナツテ居リマス、此際「デフテリア」ノ問題ニ付キマシテ、一言附加ヘテ申上ゲタイト思ヒマスコトハ、從來「デフテリア」ノ血清ノ單位ハ五百單位デアリマシタ、併シ五百單位以上ノ血清ヲ作りマスコトハ、現在ノ馬ノ狀態カラ非常ニ困難デアリマス、隨ヒマシテ近々當局方ヲ改正致シマシテ、五百單位以上ノモノト、三百五十單位以上ノモノト、此ノ二ツニ依リマシテ「デフテリア」血清ノ缺乏ノ狀態ヲ緩和致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、又一面「デフテリア」血清ノ使用量ガ稍、多キニ過ギルデハナイカト云フヤウナ臨床家ノ意見モアリマス、此ノ點モ醫師ノ方々ノ「デフテリア」血清使用ニ關スル節約ト睨ミ合セマシテ、「デフテリア」血清ノ圓滑ナル配給ノ出來マスルヤウニ、努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○菅又委員 色々ト藥品問題ニ付テ御尋ネ致サウト用意ハシテ居ツタノデスガ、昨日來先生方及ビ本日渡邊委員カ

ラ、詳シク藥品其ノ他ニ付テノ御質問
ガアリ、ソレニ對スル至レリ盡セリノ
御答辯ニ依ツテ諒解致シマシタノデ、
私ノ質問ハ是デ打切りニ致シマス

○村松委員長 仲井問答一君

○仲井問答委員 折角大臣御見エデアリ
マスカラ私ノ分モドウゾ後暫ク御出席
下サイマシテ御答辯ヲ煩ハシタイト思
ヒマス、先日最上君カラモ戰時罹災者
ノ援護ニ關スル質問ガゴザイマシタ
ガ、之ニ重複セザル範圍ニ於キマシテ
成ベク簡單ニ大綱ニ付テ大臣ニ、又細
部ニ互ル事項ニ付キマシテハ健民局長
其ノ他ノ御答辯ヲ御願ヒ致シタイト思
ヒマス、現下ノ情勢ニ於キマシテ戰時
災害罹災者ノ援護ノ必要ナコトハ今更
申上ゲルマデモゴザイマセズ、當局モ
十分御熱心ニ其ノ對策ト實施ヲ進メラ
レテ居ルコトト思フノデアリマスガ、
ドウモ我々ガ住ンデ居ル東京都ノ周圍
其ノ他ニハ、前途ニ不安ノ去ラナイヤ
ウナ事情ガアルノデアリマス、燒出サ
レテ一體我々ハドウナルノカタ云ツタ
ヤウナ不安ニ覆ハレテ居ル點ガマダ幾
ラカアルヤウデアリマス、成程疎開ヲ
勸奨致シマシテ隣縣アタリニ疎開ヲヤ
ツテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ頃ハ
愈、罹災者ノ多クナルコトヲ豫想シテ居
ルノカドウカ知レマセヌガ、家賃トカ
不動産ノ價格ガドソノ吊上ゲラレ又
親戚等ニ行キマシテモ餘リ思ハシクダ
イ、色々アリマススケレドモソレヲ速記
ニ載セテハ餘リ面白クアリマセヌガ、
此ノ自治的ナ援護、疎開等ニ付テ思フ通
リニ巧ク行カヌ點ガアルヤウニ聞イテ居
ル、却テ集團罹災者ノ援護ノ中ニ任意
ノ疎開者ガ入ッテ、ソレガ一緒ニナリ
タイト云フヤウナコトモ相當出來テ居
ルヤウニ聞クノデアリマス、成程多數

デアルシ、官廳モ手不足ナノデ、今ノ
内務省或ハ厚生省ガ一手ニ引受ケテ全
部ノ満足ヲ得ルコトハ中々出來ナイ關
係カラ、官廳ノ監督ノ下ニ民間ガ之ニ
當ツテ其ノ活動ヲスルヤウナ御考ヘ
デ、此ノ國民共助義會ト云フ財團法人
ノ組織ガ出來タト思フノデアリマス、
此ノ共助義會ノ事業ノ種類ヲ見マス
ト、勿論罹災者保護ニ關スル總テノ項
目ガ掲ゲラレテ居リマシテ、即チ生活
ノ援護、醫療ノ援護及ビ生業援護ニ關
スル事項、或ハ生活必需品ノ供給、
又ハ斂旋ニ關スル事項、又罹災者ノ收
容施設ノ設置經營、住宅ノ供給、或ハ
斂旋、職業ノ輔導斂旋ニ關スル事項、
醫者ニ關スル事項、生活相談ニ關スル
事項、國民共助思想ノ普及ニ關スル事
項、斯ウ云ツタヤウナ實ニ廣汎ニ互
ル、而モ横ニモ縦ニモ非常ニ努力ヲシ
ナケレバ、目的ガ達シ得ルカドウカト
云フ事業デアリマスノデ、今ノ政府當
局ノ手バカリデハ到底及バナイ、ソコ
デ此ノ共助義會ノ組織ハ洵ニ當ヲ得タ
モノト思フノデアリマス、此ノ共助義
會ハ十月一日ニ設立認可ニナツテ居ル
ノデアツテ日ハ淺イノデアリマスガ、
此ノ援護事業ノ活動狀況ニ付テ大體ノ
實情ヲ御説明願ヒタイト思ヒマス

○廣瀨國務大臣 戰爭ノ關係デ起リマ
シタ罹災者ニ對シテハ洵ニ氣ノ毒ニ存
ズルノデアリマス、之ニ付テハ御承知
ノヤウニ戰時災害保護法ト申ス法律ガ
アリマシテ、之ニ依ツテ保護ヲ加ヘル
ト云フ建前ニナツテ居リマス、ソレデ
第一ニ罹災者トシテ取扱ツテ參リマシ
タノハ、沖繩其ノ他遠方カラ避難シテ
來テ居ル諸君、東京ニモアリ九州ニモ
アリマシタガ、是等ノ諸君ニ對スル保
護ヲ致シテ來テ居ツタノデアリマス、

其ノ後九州地方及ビ東京其ノ他ニ於
テ、爆撃等ニ依ツテ非常ニ罹災者ガ殖
エタヤウナ實情デアリマスガ、之ニ對
シマシテハ保護法ニ依ツテ出來ルダケ
ノコトヲヤツテ居ル譯デアリマス、殊
ニ保護法ノ方ハ豫算モ特ニ餘計ニ計上
シ、又必要ガアレバ將來何時デモ、豫
備金等ニ依ツテ豫算額ヲ増スト云フヤ
ウナ方針デ進ンデ居ルノデアリマス、
此ノ罹災者ニ對スル保護ガ十分ニ行カ
ナイト云フヤウナコトガアツテハナラ
ズト存ズルノデアリマスガ、政府ノ仕
事ト云フモノハ兎角窮屈デユトリガア
リマセヌ、事務的ニモサウデアリマス
ガ、會計法ノ檢査ト云フヤウナコトガ
アリマスノデ、手取早ク俸イ所ニ手ノ
届クヤウナコトガ中々出來難イノデア
リマス、サウナクテハナラヌノデアリマ
スガ中々サウイカサ實情ニアリマス、
ソコデ政府ノ方デ愚圖々々シテ居ツテ
遅レルト云フヤウナコトニナツテ居ル
モノハ、手取早ク代ツテヤツテヤラウ
ト云フ心持デ早ク仕事ヤリタイ、ソ
レニハドウシテモ民間團體デナケレバ
ナラヌト云フコトデ、民間團體タル共
助義會ヲ作ツタ譯デアリマス、サウシ
テハ必要ナ所ニ支部ヲ設ケテ、地方
ノ實情ニ應ジテ活動シヨウト云フコト
デ段々仕事ヲ始めテ居リマスガ、マダ
如何ニモ生レタバカリデ十分手モ揃ツ
テ居リマセヌ、併シ地方支部ハ無論知
事ガ中心ニナリマスカラ、警察署或ハ
區役所等トモ連絡ヲ執ツテ、法ノ施行
ノ遲レル所、或ハ法律デハ足ラナイ所
ガアリマスカラ、サウ云フ所ヲ十分ニ
補ツテ、遺憾ノナイヤウニ出來ルダケ
努力シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル
ノデアリマス

○中井問答委員 共助義會ノ事業ハ、只
今モ列舉シタモノヲ讀ミ上ゲマシタ
ガ、非常ニ廣汎ニ互ツテ居リマス、之
ヲ實際ニ行ツテ行クノニハ相當設備ガ
要リ、人モ要ルト思ヒマス、今度ノ豫
算書デハ、私ノ見誤リカモ知レマセヌ
ガ、昭和十九年度ノ補助金ハ百萬圓
デ、二十年度ノ追加ニハ四十三萬圓
ヲ加少ナツテ居リマスガ、何カ共助
義會ノ仕事其ノモノヲ減ス必要ガアツ
テ補助金ガ減ツテ來タノデアリマス
カ、實際ヤツテ居ル事業ノ成績ヲモ併
セテ御答ヘ願ヒマス

○入江誠政府委員 共助義會ノ活動
ニ付テハ只今大臣ノ御述ベニナリマシ
タ通り、政府ト致シマシテハ財政的ノ
十分ノ助力ヲ與ヘルト云フ方針ノ下
ニ、御承知ノ通り昭和十九年度ニ於テ
七百五十萬圓ノ補助ヲ與ヘ、其ノ他ノ
經費ト併セテ一千百萬圓ノ財政ヲ以
テ、引揚民、其ノ他ノ援護ニ當ツテ居
リマス、只今御指摘ノ昭和十九年度百
萬圓、二十年度四十萬圓ノ經費デアリ
マスガ、百萬圓ト申スノハ只今大臣ノ
申述ベマシタ引揚民以外ノ、今後發展
スベキ共助義會ノ事業ニ付テノ補助デ
アリマス、是ハ御承知ノ通り十九年ノ
二月、三月分ノ僅カナ期間ノ經費デア
リマス、二十年度ニ付キマシテハ寧ロ
今後ノ災害ノ狀況ニ依リマシテ、特定
ノ經費ヲ計上致シマスヨリハ、今後ノ
狀況ニ依リテ第二豫備金ヲ以テ必要ニ應
ズルコトト致シタ方ガ適當ト認メマシ
テ、事務費ダケ計上シ、事業費ハ計上
致シマセヌ、尙ホ共助義會ノ事業ノ進
展ニ付キマシテハ、只今御述ベニナリ
マシタ通り、十月一日ニ團體ガ成立致
シマシテ、直チニ東京、鹿兒島、熊本、
大分、宮崎ノ各縣ニ支部ヲ設ケ、各地
方事務所ノ中ニ分會ヲ設ケ、市町村ニ

文會ヲ設ケ、固ヨリ共助會其ノモノ
ノ職員ハ兼任デアリマスガ、縣ト地方
事務所或ハ市町村長、市町村ノ職員ガ
共助義會ノ職員ヲ兼ねルナドノ方法ニ
依リマシテ、十分機構ノ上ニハ遺憾ナ
キヲ期シテ居ル次第デアリマス

○村松委員長 中井問答、大臣ニ御質
問ガゴザイマスカ

○仲井問答委員 モウ少シ伺ヒマス、此
ノ事業ノ對象トナルベキモノハ勿論罹
災者デアリマスガ、此ノ罹災者ノ範圍
ヲ何故御尋ネ申上ゲルカト申シマス
ト、此ノ支部ヲ置イテ居ル所ハ東京
都、熊本縣、大分縣、宮崎縣、鹿兒島
縣デアリマス、熊本、大分、宮崎、鹿
兒島ハ、沖繩カラ來タ避難民ガ其處ニ
疎開シテ居リマスノデ、大體ソレヲ狙
ヅタモノダト思ヒマス、東京都ハ伊
豆、小笠原諸島カラノモノヲ目當ニシ
テ居ルノデアリマスカ

○入江誠政府委員 御説ノ通りデア
リマス

○仲井問答委員 所ガ共助義會ハ最初ハ
引揚者ヲ對象トシテ居ツタヤウデス
ガ、後デ「戰時災害ニ因リ危害ヲ受ケ
タル者」ト云フノデ、今後ノ空爆ニ因
ル罹災者ヲ含メル方針デ大體ソレハ
出來タコトト思ヒマスガ、サウナリマ
スト東京隣縣ノ當局ノ方デ取扱ツタ、
受入レタ罹災者ノミナラズ、災害ニ遭
ツタ者ハ皆罹災者デアリマス、其ノ罹
災者ガ自ラ進ンデ任意ニ引揚ゲテ行ツ
テ、茨城、栃木、群馬縣アタリモ段々
支部設置ノ縣ニナルノデハナイカト、斯
ウ段々擴大シテ行クノデハナイカト思
フノデアリマスガ、サウナリト益、此
ノ事業ト云フモノガ非常ニ擴大擴充、
擴張シナケレバナラヌ、殊ニ災害ノ援
護ノ趣旨ヲ徹底セシムルニ重要ナル事

其ノ後九州地方及ビ東京其ノ他ニ於
テ、爆撃等ニ依ツテ非常ニ罹災者ガ殖
エタヤウナ實情デアリマスガ、之ニ對
シマシテハ保護法ニ依ツテ出來ルダケ
ノコトヲヤツテ居ル譯デアリマス、殊
ニ保護法ノ方ハ豫算モ特ニ餘計ニ計上
シ、又必要ガアレバ將來何時デモ、豫
備金等ニ依ツテ豫算額ヲ増スト云フヤ
ウナ方針デ進ンデ居ルノデアリマス、
此ノ罹災者ニ對スル保護ガ十分ニ行カ
ナイト云フヤウナコトガアツテハナラ
ズト存ズルノデアリマスガ、政府ノ仕
事ト云フモノハ兎角窮屈デユトリガア
リマセヌ、事務的ニモサウデアリマス
ガ、會計法ノ檢査ト云フヤウナコトガ
アリマスノデ、手取早ク俸イ所ニ手ノ
届クヤウナコトガ中々出來難イノデア
リマス、サウナクテハナラヌノデアリマ
スガ中々サウイカサ實情ニアリマス、
ソコデ政府ノ方デ愚圖々々シテ居ツテ
遅レルト云フヤウナコトニナツテ居ル
モノハ、手取早ク代ツテヤツテヤラウ
ト云フ心持デ早ク仕事ヤリタイ、ソ
レニハドウシテモ民間團體デナケレバ
ナラヌト云フコトデ、民間團體タル共
助義會ヲ作ツタ譯デアリマス、サウシ
テハ必要ナ所ニ支部ヲ設ケテ、地方
ノ實情ニ應ジテ活動シヨウト云フコト
デ段々仕事ヲ始めテ居リマスガ、マダ
如何ニモ生レタバカリデ十分手モ揃ツ
テ居リマセヌ、併シ地方支部ハ無論知
事ガ中心ニナリマスカラ、警察署或ハ
區役所等トモ連絡ヲ執ツテ、法ノ施行
ノ遲レル所、或ハ法律デハ足ラナイ所
ガアリマスカラ、サウ云フ所ヲ十分ニ
補ツテ、遺憾ノナイヤウニ出來ルダケ
努力シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル
ノデアリマス

○廣瀨國務大臣 戰爭ノ關係デ起リマ
シタ罹災者ニ對シテハ洵ニ氣ノ毒ニ存
ズルノデアリマス、之ニ付テハ御承知
ノヤウニ戰時災害保護法ト申ス法律ガ
アリマシテ、之ニ依ツテ保護ヲ加ヘル
ト云フ建前ニナツテ居リマス、ソレデ
第一ニ罹災者トシテ取扱ツテ參リマシ
タノハ、沖繩其ノ他遠方カラ避難シテ
來テ居ル諸君、東京ニモアリ九州ニモ
アリマシタガ、是等ノ諸君ニ對スル保
護ヲ致シテ來テ居ツタノデアリマス、

其ノ後九州地方及ビ東京其ノ他ニ於
テ、爆撃等ニ依ツテ非常ニ罹災者ガ殖
エタヤウナ實情デアリマスガ、之ニ對
シマシテハ保護法ニ依ツテ出來ルダケ
ノコトヲヤツテ居ル譯デアリマス、殊
ニ保護法ノ方ハ豫算モ特ニ餘計ニ計上
シ、又必要ガアレバ將來何時デモ、豫
備金等ニ依ツテ豫算額ヲ増スト云フヤ
ウナ方針デ進ンデ居ルノデアリマス、
此ノ罹災者ニ對スル保護ガ十分ニ行カ
ナイト云フヤウナコトガアツテハナラ
ズト存ズルノデアリマスガ、政府ノ仕
事ト云フモノハ兎角窮屈デユトリガア
リマセヌ、事務的ニモサウデアリマス
ガ、會計法ノ檢査ト云フヤウナコトガ
アリマスノデ、手取早ク俸イ所ニ手ノ
届クヤウナコトガ中々出來難イノデア
リマス、サウナクテハナラヌノデアリマ
スガ中々サウイカサ實情ニアリマス、
ソコデ政府ノ方デ愚圖々々シテ居ツテ
遅レルト云フヤウナコトニナツテ居ル
モノハ、手取早ク代ツテヤツテヤラウ
ト云フ心持デ早ク仕事ヤリタイ、ソ
レニハドウシテモ民間團體デナケレバ
ナラヌト云フコトデ、民間團體タル共
助義會ヲ作ツタ譯デアリマス、サウシ
テハ必要ナ所ニ支部ヲ設ケテ、地方
ノ實情ニ應ジテ活動シヨウト云フコト
デ段々仕事ヲ始めテ居リマスガ、マダ
如何ニモ生レタバカリデ十分手モ揃ツ
テ居リマセヌ、併シ地方支部ハ無論知
事ガ中心ニナリマスカラ、警察署或ハ
區役所等トモ連絡ヲ執ツテ、法ノ施行
ノ遲レル所、或ハ法律デハ足ラナイ所
ガアリマスカラ、サウ云フ所ヲ十分ニ
補ツテ、遺憾ノナイヤウニ出來ルダケ
努力シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル
ノデアリマス

○中井問答委員 共助義會ノ事業ハ、只
今モ列舉シタモノヲ讀ミ上ゲマシタ
ガ、非常ニ廣汎ニ互ツテ居リマス、之
ヲ實際ニ行ツテ行クノニハ相當設備ガ
要リ、人モ要ルト思ヒマス、今度ノ豫
算書デハ、私ノ見誤リカモ知レマセヌ
ガ、昭和十九年度ノ補助金ハ百萬圓
デ、二十年度ノ追加ニハ四十三萬圓
ヲ加少ナツテ居リマスガ、何カ共助
義會ノ仕事其ノモノヲ減ス必要ガアツ
テ補助金ガ減ツテ來タノデアリマス
カ、實際ヤツテ居ル事業ノ成績ヲモ併
セテ御答ヘ願ヒマス

○入江誠政府委員 共助義會ノ活動
ニ付テハ只今大臣ノ御述ベニナリマシ
タ通り、政府ト致シマシテハ財政的ノ
十分ノ助力ヲ與ヘルト云フ方針ノ下
ニ、御承知ノ通り昭和十九年度ニ於テ
七百五十萬圓ノ補助ヲ與ヘ、其ノ他ノ
經費ト併セテ一千百萬圓ノ財政ヲ以
テ、引揚民、其ノ他ノ援護ニ當ツテ居
リマス、只今御指摘ノ昭和十九年度百
萬圓、二十年度四十萬圓ノ經費デアリ
マスガ、百萬圓ト申スノハ只今大臣ノ
申述ベマシタ引揚民以外ノ、今後發展
スベキ共助義會ノ事業ニ付テノ補助デ
アリマス、是ハ御承知ノ通り十九年ノ
二月、三月分ノ僅カナ期間ノ經費デア
リマス、二十年度ニ付キマシテハ寧ロ
今後ノ災害ノ狀況ニ依リマシテ、特定
ノ經費ヲ計上致シマスヨリハ、今後ノ
狀況ニ依リテ第二豫備金ヲ以テ必要ニ應
ズルコトト致シタ方ガ適當ト認メマシ
テ、事務費ダケ計上シ、事業費ハ計上
致シマセヌ、尙ホ共助義會ノ事業ノ進
展ニ付キマシテハ、只今御述ベニナリ
マシタ通り、十月一日ニ團體ガ成立致
シマシテ、直チニ東京、鹿兒島、熊本、
大分、宮崎ノ各縣ニ支部ヲ設ケ、各地
方事務所ノ中ニ分會ヲ設ケ、市町村ニ

文會ヲ設ケ、固ヨリ共助會其ノモノ
ノ職員ハ兼任デアリマスガ、縣ト地方
事務所或ハ市町村長、市町村ノ職員ガ
共助義會ノ職員ヲ兼ねルナドノ方法ニ
依リマシテ、十分機構ノ上ニハ遺憾ナ
キヲ期シテ居ル次第デアリマス

○村松委員長 中井問答、大臣ニ御質
問ガゴザイマスカ

○仲井問答委員 モウ少シ伺ヒマス、此
ノ事業ノ對象トナルベキモノハ勿論罹
災者デアリマスガ、此ノ罹災者ノ範圍
ヲ何故御尋ネ申上ゲルカト申シマス
ト、此ノ支部ヲ置イテ居ル所ハ東京
都、熊本縣、大分縣、宮崎縣、鹿兒島
縣デアリマス、熊本、大分、宮崎、鹿
兒島ハ、沖繩カラ來タ避難民ガ其處ニ
疎開シテ居リマスノデ、大體ソレヲ狙
ヅタモノダト思ヒマス、東京都ハ伊
豆、小笠原諸島カラノモノヲ目當ニシ
テ居ルノデアリマスカ

○入江誠政府委員 御説ノ通りデア
リマス

○仲井問答委員 所ガ共助義會ハ最初ハ
引揚者ヲ對象トシテ居ツタヤウデス
ガ、後デ「戰時災害ニ因リ危害ヲ受ケ
タル者」ト云フノデ、今後ノ空爆ニ因
ル罹災者ヲ含メル方針デ大體ソレハ
出來タコトト思ヒマスガ、サウナリマ
スト東京隣縣ノ當局ノ方デ取扱ツタ、
受入レタ罹災者ノミナラズ、災害ニ遭
ツタ者ハ皆罹災者デアリマス、其ノ罹
災者ガ自ラ進ンデ任意ニ引揚ゲテ行ツ
テ、茨城、栃木、群馬縣アタリモ段々
支部設置ノ縣ニナルノデハナイカト、斯
ウ段々擴大シテ行クノデハナイカト思
フノデアリマスガ、サウナリト益、此
ノ事業ト云フモノガ非常ニ擴大擴充、
擴張シナケレバナラヌ、殊ニ災害ノ援
護ノ趣旨ヲ徹底セシムルニ重要ナル事

○廣瀨國務大臣 戰爭ノ關係デ起リマ
シタ罹災者ニ對シテハ洵ニ氣ノ毒ニ存
ズルノデアリマス、之ニ付テハ御承知
ノヤウニ戰時災害保護法ト申ス法律ガ
アリマシテ、之ニ依ツテ保護ヲ加ヘル
ト云フ建前ニナツテ居リマス、ソレデ
第一ニ罹災者トシテ取扱ツテ參リマシ
タノハ、沖繩其ノ他遠方カラ避難シテ
來テ居ル諸君、東京ニモアリ九州ニモ
アリマシタガ、是等ノ諸君ニ對スル保
護ヲ致シテ來テ居ツタノデアリマス、

其ノ後九州地方及ビ東京其ノ他ニ於
テ、爆撃等ニ依ツテ非常ニ罹災者ガ殖
エタヤウナ實情デアリマスガ、之ニ對
シマシテハ保護法ニ依ツテ出來ルダケ
ノコトヲヤツテ居ル譯デアリマス、殊
ニ保護法ノ方ハ豫算モ特ニ餘計ニ計上
シ、又必要ガアレバ將來何時デモ、豫
備金等ニ依ツテ豫算額ヲ増スト云フヤ
ウナ方針デ進ンデ居ルノデアリマス、
此ノ罹災者ニ對スル保護ガ十分ニ行カ
ナイト云フヤウナコトガアツテハナラ
ズト存ズルノデアリマスガ、政府ノ仕
事ト云フモノハ兎角窮屈デユトリガア
リマセヌ、事務的ニモサウデアリマス
ガ、會計法ノ檢査ト云フヤウナコトガ
アリマスノデ、手取早ク俸イ所ニ手ノ
届クヤウナコトガ中々出來難イノデア
リマス、サウナクテハナラヌノデアリマ
スガ中々サウイカサ實情ニアリマス、
ソコデ政府ノ方デ愚圖々々シテ居ツテ
遅レルト云フヤウナコトニナツテ居ル
モノハ、手取早ク代ツテヤツテヤラウ
ト云フ心持デ早ク仕事ヤリタイ、ソ
レニハドウシテモ民間團體デナケレバ
ナラヌト云フコトデ、民間團體タル共
助義會ヲ作ツタ譯デアリマス、サウシ
テハ必要ナ所ニ支部ヲ設ケテ、地方
ノ實情ニ應ジテ活動シヨウト云フコト
デ段々仕事ヲ始めテ居リマスガ、マダ
如何ニモ生レタバカリデ十分手モ揃ツ
テ居リマセヌ、併シ地方支部ハ無論知
事ガ中心ニナリマスカラ、警察署或ハ
區役所等トモ連絡ヲ執ツテ、法ノ施行
ノ遲レル所、或ハ法律デハ足ラナイ所
ガアリマスカラ、サウ云フ所ヲ十分ニ
補ツテ、遺憾ノナイヤウニ出來ルダケ
努力シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル
ノデアリマス

○中井問答委員 共助義會ノ事業ハ、只
今モ列舉シタモノヲ讀ミ上ゲマシタ
ガ、非常ニ廣汎ニ互ツテ居リマス、之
ヲ實際ニ行ツテ行クノニハ相當設備ガ
要リ、人モ要ルト思ヒマス、今度ノ豫
算書デハ、私ノ見誤リカモ知レマセヌ
ガ、昭和十九年度ノ補助金ハ百萬圓
デ、二十年度ノ追加ニハ四十三萬圓
ヲ加少ナツテ居リマスガ、何カ共助
義會ノ仕事其ノモノヲ減ス必要ガアツ
テ補助金ガ減ツテ來タノデアリマス
カ、實際ヤツテ居ル事業ノ成績ヲモ併
セテ御答ヘ願ヒマス

○入江誠政府委員 共助義會ノ活動
ニ付テハ只今大臣ノ御述ベニナリマシ
タ通り、政府ト致シマシテハ財政的ノ
十分ノ助力ヲ與ヘルト云フ方針ノ下
ニ、御承知ノ通り昭和十九年度ニ於テ
七百五十萬圓ノ補助ヲ與ヘ、其ノ他ノ
經費ト併セテ一千百萬圓ノ財政ヲ以
テ、引揚民、其ノ他ノ援護ニ當ツテ居
リマス、只今御指摘ノ昭和十九年度百
萬圓、二十年度四十萬圓ノ經費デアリ
マスガ、百萬圓ト申スノハ只今大臣ノ
申述ベマシタ引揚民以外ノ、今後發展
スベキ共助義會ノ事業ニ付テノ補助デ
アリマス、是ハ御承知ノ通り十九年ノ
二月、三月分ノ僅カナ期間ノ經費デア
リマス、二十年度ニ付キマシテハ寧ロ
今後ノ災害ノ狀況ニ依リマシテ、特定
ノ經費ヲ計上致シマスヨリハ、今後ノ
狀況ニ依リテ第二豫備金ヲ以テ必要ニ應
ズルコトト致シタ方ガ適當ト認メマシ
テ、事務費ダケ計上シ、事業費ハ計上
致シマセヌ、尙ホ共助義會ノ事業ノ進
展ニ付キマシテハ、只今御述ベニナリ
マシタ通り、十月一日ニ團體ガ成立致
シマシテ、直チニ東京、鹿兒島、熊本、
大分、宮崎ノ各縣ニ支部ヲ設ケ、各地
方事務所ノ中ニ分會ヲ設ケ、市町村ニ

文會ヲ設ケ、固ヨリ共助會其ノモノ
ノ職員ハ兼任デアリマスガ、縣ト地方
事務所或ハ市町村長、市町村ノ職員ガ
共助義會ノ職員ヲ兼ねルナドノ方法ニ
依リマシテ、十分機構ノ上ニハ遺憾ナ
キヲ期シテ居ル次第デアリマス

○村松委員長 中井問答、大臣ニ御質
問ガゴザイマスカ

○仲井問答委員 モウ少シ伺ヒマス、此
ノ事業ノ對象トナルベキモノハ勿論罹
災者デアリマスガ、此ノ罹災者ノ範圍
ヲ何故御尋ネ申上ゲルカト申シマス
ト、此ノ支部ヲ置イテ居ル所ハ東京
都、熊本縣、大分縣、宮崎縣、鹿兒島
縣デアリマス、熊本、大分、宮崎、鹿
兒島ハ、沖繩カラ來タ避難民ガ其處ニ
疎開シテ居リマスノデ、大體ソレヲ狙
ヅタモノダト思ヒマス、東京都ハ伊
豆、小笠原諸島カラノモノヲ目當ニシ
テ居ルノデアリマスカ

○入江誠政府委員 御説ノ通りデア
リマス

○仲井問答委員 所ガ共助義會ハ最初ハ
引揚者ヲ對象トシテ居ツタヤウデス
ガ、後デ「戰時災害ニ因リ危害ヲ受ケ
タル者」ト云フノデ、今後ノ空爆ニ因
ル罹災者ヲ含メル方針デ大體ソレハ
出來タコトト思ヒマスガ、サウナリマ
スト東京隣縣ノ當局ノ方デ取扱ツタ、
受入レタ罹災者ノミナラズ、災害ニ遭
ツタ者ハ皆罹災者デアリマス、其ノ罹
災者ガ自ラ進ンデ任意ニ引揚ゲテ行ツ
テ、茨城、栃木、群馬縣アタリモ段々
支部設置ノ縣ニナルノデハナイカト、斯
ウ段々擴大シテ行クノデハナイカト思
フノデアリマスガ、サウナリト益、此
ノ事業ト云フモノガ非常ニ擴大擴充、
擴張シナケレバナラヌ、殊ニ災害ノ援
護ノ趣旨ヲ徹底セシムルニ重要ナル事

○廣瀨國務大臣 戰爭ノ關係デ起リマ
シタ罹災者ニ對シテハ洵ニ氣ノ毒ニ存
ズルノデアリマス、之ニ付テハ御承知
ノヤウニ戰時災害保護法ト申ス法律ガ
アリマシテ、之ニ依ツテ保護ヲ加ヘル
ト云フ建前ニナツテ居リマス、ソレデ
第一ニ罹災者トシテ取扱ツテ參リマシ
タノハ、沖繩其ノ他遠方カラ避難シテ
來テ居ル諸君、東京ニモアリ九州ニモ
アリマシタガ、是等ノ諸君ニ對スル保
護ヲ致シテ來テ居ツタノデアリマス、

其ノ後九州地方及ビ東京其ノ他ニ於
テ、爆撃等ニ依ツテ非常ニ罹災者ガ殖
エタヤウナ實情デアリマスガ、之ニ對
シマシテハ保護法ニ依ツテ出來ルダケ
ノコトヲヤツテ居ル譯デアリマス、殊
ニ保護法ノ方ハ豫算モ特ニ餘計ニ計上
シ、又必要ガアレバ將來何時デモ、豫
備金等ニ依ツテ豫算額ヲ増スト云フヤ
ウナ方針デ進ンデ居ルノデアリマス、
此ノ罹災者ニ對スル保護ガ十分ニ行カ
ナイト云フヤウナコトガアツテハナラ
ズト存ズルノデアリマスガ、政府ノ仕
事ト云フモノハ兎角窮屈デユトリガア
リマセヌ、事務的ニモサウデアリマス
ガ、會計法ノ檢査ト云フヤウナコトガ
アリマスノデ、手取早ク俸イ所ニ手ノ
届クヤウナコトガ中々出來難イノデア
リマス、サウナクテハナラヌノデアリマ
スガ中々サウイカサ實情ニアリマス、
ソコデ政府ノ方デ愚圖々々シテ居ツテ
遅レルト云フヤウナコトニナツテ居ル
モノハ、手取早ク代ツテヤツテヤラウ
ト云フ心持デ早ク仕事ヤリタイ、ソ
レニハドウシテモ民間團體デナケレバ
ナラヌト云フコトデ、民間團體タル共
助義會ヲ作ツタ譯デアリマス、サウシ
テハ必要ナ所ニ支部ヲ設ケテ、地方
ノ實情ニ應ジテ活動シヨウト云フコト
デ段々仕事ヲ始めテ居リマスガ、マダ
如何ニモ生レタバカリデ十分手モ揃ツ
テ居リマセヌ、併シ地方支部ハ無論知
事ガ中心ニナリマスカラ、警察署或ハ
區役所等トモ連絡ヲ執ツテ、法ノ施行
ノ遲レル所、或ハ法律デハ足ラナイ所
ガアリマスカラ、サウ云フ所ヲ十分ニ
補ツテ、遺憾ノナイヤウニ出來ルダケ
努力シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル
ノデアリマス

○中井問答委員 共助義會ノ事業ハ、只
今モ列舉シタモノヲ讀ミ上ゲマシタ
ガ、非常ニ廣汎ニ互ツテ居リマス、之
ヲ實際ニ行ツテ行クノニハ相當設備ガ
要リ、人モ要ルト思ヒマス、今度ノ豫
算書デハ、私ノ見誤リカモ知レマセヌ
ガ、昭和十九年度ノ補助金ハ百萬圓
デ、二十年度ノ追加ニハ四十三萬圓
ヲ加少ナツテ居リマスガ、何カ共助
義會ノ仕事其ノモノヲ減ス必要ガアツ
テ補助金ガ減ツテ來タノデアリマス
カ、實際ヤツテ居ル事業ノ成績ヲモ併
セテ御答ヘ願ヒマス

○入江誠政府委員 共助義會ノ活動
ニ付テハ只今大臣ノ御述ベニナリマシ
タ通り、政府ト致シマシテハ財政的ノ
十分ノ助力ヲ與ヘルト云フ方針ノ下
ニ、御承知ノ通り昭和十九年度ニ於テ
七百五十萬圓ノ補助ヲ與ヘ、其ノ他ノ
經費ト併セテ一千百萬圓ノ財政ヲ以
テ、引揚民、其ノ他ノ援護ニ當ツテ居
リマス、只今御指摘ノ昭和十九年度百
萬圓、二十年度四十萬圓ノ經費デアリ
マスガ、百萬圓ト申スノハ只今大臣ノ
申述ベマシタ引揚民以外ノ、今後發展
スベキ共助義會ノ事業ニ付テノ補助デ
アリマス、是ハ御承知ノ通り十九年ノ
二月、三月分ノ僅カナ期間ノ經費デア
リマス、二十年度ニ付キマシテハ寧ロ
今後ノ災害ノ狀況ニ依リマシテ、特定
ノ經費ヲ計上致シマスヨリハ、今後ノ
狀況ニ依リテ第二豫備金ヲ以テ必要ニ應
ズルコトト致シタ方ガ適當ト認メマシ
テ、事務費ダケ計上シ、事業費ハ計上
致シマセヌ、尙ホ共助義會ノ事業ノ進
展ニ付キマシテハ、只今御述ベニナリ
マシタ通り、十月一日ニ團體ガ成立致
シマシテ、直チニ東京、鹿兒島、熊本、
大分、宮崎ノ各縣ニ支部ヲ設ケ、各地
方事務所ノ中ニ分會ヲ設ケ、市町村ニ

柄ハ、國民共助思想ノ普及デアル、國民全體ガ其ノ罹災者ニ對スル共助ヲスルト云フ思想ニ燃エテ居ルコト云フコトガ先決問題ト思ヒマスガ、サウ云フコトニ付テノ施設、運動ト云フモノガ餘リナイヤウデアリマス、唯ソレダケハヤラナケレバナラヌト云フコトハ感ジテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ指導的ナ運動ガ缺ケテ居ルヤウデアリマス、ソコデ其ノ東京邊カラ疎開ヲスル連中ガ色々困難ヲ感ジテ、其ノ疎開ノ目的ヲ達シ得ナイト云フコトノ色々ノ憤懣ヲ懇ヘテ居ル人々ガアルノデアリマスルガ、是非トモ其ノ方面ニ、此ノ運動ヲ徹底セシムルノ必要ガアルト思フノデアリマス、ソコデ此ノ共助義會ノ擴充方策、是ガ段々ニ現下ノ情勢ガ進展シテ、戰局ト共ニ罹災者ガ多クナルコトハ——望ムノデアリマセヌガ、段々是ガ多クナリマス、共助義會ノ運営、共助義會ノ活動ガ廣クナツテ參リマス、ソコデ今ノ是ハ厚生省ト内務省ノ役人ノ方ガ寄附行爲者トナツテ制定サレテ居リマスガ、將來段々斯ウ云フ風ニ擴大サレテ參リマス、ドウシテモ是ハ國家ノ事業トシテ——勿論今日デモ國家事業デアリマスガ、其ノ運営ト活動トハ強力ニ展開セシムル爲ニ、之ヲ國ノ特殊法人トスルヤウナコトニマデ伸ビテ行クノデハナイカト云フ見越ハゴザイマセヌデセウカ

○廣瀨國務大臣 御心配ノ點洵ニ御尤モデ、是ハ段々擴大サレテ行クノデアリマス、ソレデ支部モ段々ニ各府縣ニ擴ゲテ行カナケレバナラヌト云フ風ニ考ヘテ居リマス、今大體申シマス、ヤハリ斯ウ云フ種類ノ團體トシテハ、例ヘバ軍人援護會ト云フヤウナ、恩賜財團デアリマスガ是ナドモ軍人ノ遺家族ノ援護ヲ致シテ居ルノデアリマス、是モ大キナ團體デヤハリ國民ガ軍人ノ遺家族ニ對シテ援ケ合ツテ行カウト云フ考ヘデ出來テ居ルノデアリマス、此ノ共助義會モ是ト同ジヤウニ民間ノ協力ガ本旨デアル、ソコデ現在モ民間ノ有力ナ方々ニ此ノ問題ニ付テノ財源ノ捻出ヲ——政府モ十分ニ補助スルノデアリマスガ、國民共助デアリマスカラ、民間ノ人ノ財力ノ援助モ受ケナケレバナラヌト云フ建前デ、話ヲ進メテ居リマス、餘リ表ニ出テ居リマセヌガ、相當進行モ致シテ居ル、サウ云フヤウナ譯デアリマシテ、軍人援護會等ト大體同ジニ行クト思ヒマス、軍人援護會モ特殊法人ト云フコトデナシ、ヤハリ財團法人トシテ立ツテ行ツテ居リマス、大體財團法人トシテ立ツテ行クコトノ方ガ、却テ民間トノ協助力ト云フコトニ於テハ適當デハナイカ、斯ウ今私ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○仲井間委員 大體御趣旨ハ能ク諒承致シマス、軍人援護會トカ、他ノ國家ノ性質ヲ持ツ財團法人ヨリ、ドウモ此ノ方ガ仕事ヲアル上ニ付テ、非常ニ國民トノ關係ニ於テ益、私利の「タツチ」シテ行ク、接觸シテ行カナケレバナラヌ部面モ多イノデ、國民の感情ヨリ吾々ハサウ云ツタ見透シ御伺ヒ致シタノデアリマスガ、何レニシテモ此ノ援護ノ達成ガ、今後ノ戦力ノ増強ニ極メテ重大ナル影響ヲ持ツテ居ルコトニ留意サレマシテ、ドウゾ御善處アラシコトヲ御願ヒスル次第デアリマス、此ノ援護ノやり方ニ付テ、十月ノ中旬頃南九州方面ヲ廻ツテ見テ居リマス、マダ統一サレテ居ナイ嫌ヒガアリマシタノデ、其ノ當時——既ニ今ハ日附ガ十月一日デ支部ニナツテ居リマ

スガ、其ノ統一ヲ期セラレタイト云フ要望モアツタノデアリマス、例ヘバ罹災者ト云フノハドノ範圍ノモノヲ云フノカ、詰リ引揚民トシテ保護援護ヲ受クベキモノノ範圍デアリマス、例ヘテ申上ゲマスレバ、沖繩縣カラ、沖繩縣ノ當局ガ戰局ノ前途ヲ見透シテ早く疎開スルヤウニト云フコトヲ勸奨シテ、皆サシタノデアリマス、ソコデ緣故ノアル者ハ、緣故者ニ、又緣故ノナイ者ハ集團疎開デ、受入縣デハ集團或ハ分散デ受入レテ居リマスガ、此ノ緣故疎開者ト申シマシテモ、親戚知人ヲ頼ツテ行クノデハナクシテ、唯任意ニ出テ行クテ、自ラ其處ニ家ヲ借リルカ、行ツテ家ノ賃貸借ヲヤツテ居ル連中モアル、實質カラ云ヘバ皆集團疎開ト同ジ運命ヲ持ツ疎開者デアアルノデアリマスガ、ソレヲ援護スル側ノ當局カラ見レバ之ヲ非常ニ區別シテ居ルノデアリマス、又其ノ集團疎開デ受入レタ引揚民ノ中ニモ、或ル縣ニ於キマシテハ、マア一應此ノ際政府當局ノ勸メニ依ツテ疎開シテ來タ以上ハ、先ヅ總テガ生活困難者ト看做シテ或ル程度ノ……

○村松委員長 仲井間君大臣ハモウ宜シウゴザイマス

○仲井間委員 大臣ハ宜シウゴザイマス

○廣瀨國務大臣 私ハ一寸行キマスカラ、其ノ前ニ一言答辯ヲシテ行キマセウ、御心配ノヤウナ點ガアリマスノデ、是カラ此ノ團體ノ構成ニ付キマシテハ十分色々考ヘマスガ、尙ホ一ツ皆サン方ニモ御協力ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス、又實際色々實行シテ行キマシト、中々罹災者ノ心持ニ適フヤウニ進ミ難イ點ガアリマスカラ、是等ノ點ニ付キマシテハ色々努力ハ致シマス

○仲井間委員 私サツキカラ申上ゲマシタノハ、一口ニ言ヘバ引揚民、罹災者ト云フ文字ガ用ヒラレテアリマスノデ、詰リ其ノ引揚民ト云フ解釋デアリマス、罹災者ト云フ文字ノ解釋デアリマス、其ノ範圍デアリマス、一應沖繩縣カラノ引揚民ヲ鹿児島ニ上陸サセテ、熊本、宮崎、各府縣ニソレヲ受入レルノデアリマスガ、其ノ受入レタ者全部ガ保護ヲ要スル引揚民デアルト云フ解釋ヲ採ラレタ當局ト、サウデナシニ其ノ引揚民ノ受入レタ者ノ中、生活ノ資力ソナイ者ダケヲ要生活援護者トシテ取扱フノダト云フ二ツノ區別ヲ縣ニ依ツテシテ居ル、ダカラ一方ノ縣ニ引揚民ト一方ノ縣ニ居ル引揚民ト待遇ガ違フノデ、ドウシテ斯ウ云フ區別ガアルノカト云ツタヤウナコトデ惱ソデ居ル所モアルノデアリマス、ソコデ例ヘバ或ル縣ノ如キハ、一應是ハ縣ノ勸メニ依ツテ殆ド強制疎開ト同ジヤウナコトデ來テ居ルノダカラ、マア集團疎開ヲサシテ置イテ、ソコデ或ル時期マデ、詰リ生業ニ服スル時期、期間ハ切ツテ居リマセヌガ、或ル適當ナ時期マデハ一應食糧ヲ配給シヨウト云フノデ、國ノ補助ノ下ニ於テ、一時縣カラ立替ヘテ給與ヲシテ居リマス、是ハ全部一圓ニ給付シテ居リマス、或ル縣ニ於テハ、一應原則トシテハ給付シナイ、生活困難ダカラ援助ヲシテ呉レト云フ申請書ヲ出シタ者ニ對シテノミ、此ノ生活援護ヲスルノダト云フヤウナ措置ヲ執ツテ居ル縣モアルノデアリマス、前者ニ於キマシテハモウ此ノ引揚民モ先ヅ安心シテズツト生活ヲ續ケテ居ルヤウデアリマスルガ、後ノ方ハ

申請ヲスル手續ヲ知ラナイ、其ノ申請ガ必要カドウカト云フヤウナコトモ、十月頃マデハ知ラナカッタノデ、其ノ儘友人ガ立替ヘテ行ツテ生活ヲ維持シテ居ルガ、將來何時マデモ斯ウ云フコトデハ仕樣ガナイデヤナイカ、歸ル場合ニ旅費モ無クナルデヤナイカト云ツタヤウナ心配モアツタノデアリマス、縣々ニ依ツテサウ云フ待遇ナリ補助、援護ノ方法ガ變ルト云フコトニナツテハイケナイガ、ドツチヲ採ルノガ適當デアルカ、斯ウ考ヘテ居ツタノデアリマスルガ、後デ戰時保護法デスカ、其ノ中ニ本人カラ申請ハナクテモ、市町村長ニ於テ援護ヲ要スベキモノト認ムルモノハ、市町村長ニ於テ適宜ニ之ヲ處理スルコトガ出來ルト云ツタヤウナ意味ノ注文ガアルヤウデアリマスノデ、當局デ此ノ法律ヲ適用シテ救済スレバ宜イニト我々ハ考ヘタ次第デアリマス、サウ云ツタヤウナ途モアルシスルノデ、是非一ツ統一シタコトヲヤツテ戴キタイト云フノデ、厚生省ニモ實ハ參ツタ譯デアリマシタガ、マダ其ノ後何等解決ガ付キマセヌデ今日ニ至ツテ居リマス、色々澤山アリマスルケレドモ、サウ云ツタ援護ノ方策ニ付テマデ決定シタコトガ發表モサレテ居リマセヌシ、能ク知リマセヌノデ、不安ノ裡ニ過シテ居ルノデハナイカト思フ點ガアリマスカラ、是ハドウゾ一ツ、モウ今日デハ決マツテ居ル管デアリマスカラ、其ノ地方ノ引揚民或ハ罹災者ニ對シテ、十分徹底スルヤウニ御通達ヲ御願ヒシタイト思フノデアリマスガ、如何ナルコトニ決マリタマシカラ御尋ネ致シタイノデアリマス

○入江誠政府委員 只今御話ノ通り、又能ク御存ジノ通り、一應沖繩縣

御願ヒ致ス次第アリマス

○中井川政府委員 只今ノ仲井間サンノ御熱心ナル御主張ハ能ク拜承致シマシタノデ、ソレ等ノ御意見ニ副フヤウニ努力致シテ參ルヤウニ致シタイト思ヒマス

○仲井間委員 私ノ質疑ハ是デ終リマス

○最上委員 參考書ニ付テ一ツ……先般私ガ質問シタノニ對シテ、清水委員カラ更ニ參考書ノ送付ヲ願フタノデアリマスガ、ソレニ依ルト陸軍共濟組合ノ給與額ハ、現行船員保險法ノ給與額ト大體同ジデアツテ、改正船員保險法ノ給與額トハ非常ニ相違スルノデアリマス、特ニ陸軍共濟組合ノ方ニハ遺族扶助料等モ拔ケテ居ルノデアリマス、是等ニ付テハ實際ニ於テ、非常ニ新改正法ト陸軍共濟組合トノ給與額ガ大分相違シテ居リマスガ、是ハドウスル見込デアリマスカ、一寸御伺ヒ致シマス

○仲井川政府委員 實ハ昨日ノ清水サンノ御質問ニ對シテ、大臣ヨリ御答ヘスル積リデ居ツタノデアリマスガ、御見エニナラナカッタノデ、其ノ點御見エニナツタラ申上ゲルコトヲ、委員長ト御打合せ致シテ居ツタノデアリマス、併シ只今ノ御質問ニ依リマシテ、昨日ノ御關係ノ分ト合ハセテ申上ゲタイト存ジマス、只令御指摘ノ通り改正法トハ相當ナ開キガアリマスガ、是ガ實施サレル時マデノ間ニ、陸軍共濟組合ニ於テモ是ト合致スルヤウナ、改正ヲ加ヘテ行クヤウニ相成ツテ居リマシテ、左様ナ連絡ヲ今日致シテ居ル次第デアリマス、尙ホ昨日清水サンハ陸軍共濟組合ニ加入セル船員ヲ、船員保險ノ被保險者トシテ、一元的ニ是ガ援護ヲ圖

ルコトトシテハドウカトノ御質問デゴザイマシタガ、御意見ノ點ニ付キマシテハ十分ニ拜承致シマシタノデ、御趣旨ノ線ニ沿ヒマシテ、今後十分ニ研究ヲ進メテ行キタイト存ジテ居リマス、尙ホ御意見ノ點ニ付キマシテハ、陸軍當局ニモ十分ニ通ジテ居リマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒマス

○最上委員 能ク分リマシタガ、若シ陸軍ノ給與ガ船員保險法ニ依ル給與ヨリ少イ場合ニ於テ、船員ヨリ俺ハ船員保險法ニ依ル支給ヲ受ケタイト云フ希望ガ出タ場合ニハ、ソレハ變更スルコトガ可能デアリマスカ、ドウデスカ

○仲井川政府委員 御話ノヤウニ若シ希望ガアルナラバ、船員保險法ノ被保險者ニナリ得ルカドウカト云フ點ニ付テハ、今ノ所デハ出來マセス、併シサウ云フヤウナ差異ノナイヤウニ、十分連絡ヲ保ツテ行ク積リデアリマス

○村松委員長 是デ船員保險法中改正法律案ノ質疑ハ終了致シマシタ、次回ノ日時ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時四十四分散會

昭和二十年一月三十日印刷

昭和二十年一月三十日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局